

ロボティックマットレス レイオス

【一般医療機器 体動センサ 製造販売届出番号34B2X00012000001】

取扱説明書



安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また患者様の身体状況や環境が変化した場合には、医師または看護師などの医療従事者に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①患者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⊘：してはいけない「禁止」を意味します。

⚠：必ず実行していただく「強制」を意味します。

注意事項

添付文書お読みの上、下記内容を必ず守ってご使用ください。



警告 ※死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

- ①本製品は睡眠障害等の病気の診断装置ではありません。
- ②本製品を磁気共鳴画像診断装置(MRI)と併用しないでください。
- ③可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内で使用しないでください。
- ④高圧酸素患者治療装置内で使用しないでください。
- ⑤本製品の設定は医師または看護師などの医療従事者により設定をおこなってください。
- ⑥使用中、患者様の体に異常を感じたり、不安を感じた場合には直ちに使用をやめ、医師または看護師などの医療従事者の指示に従ってください。
- ⑦ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作をおこなわないでください。また、体位変換動作中にベッドの背上げをおこなわないでください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化などが起きないか、安全を確認の上、使用してください。
【背上げ】ボタンをタッチすると約3分でフラットになります。
- ⑧ポジショニング用のクッションを使用する場合は、医師または看護師などの医療従事者により設置してください。自動体位変換、体位指定を使用する場合は、体位の崩れなどが起きないか、安全を確認の上、使用してください。
- ⑨安全のため必ずサイドレールを使用してください。
- ⑩マットレスは必ず頭側と足元側を確認し設置してください。また、マットレスの表と裏を逆にして使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、症状の悪化や思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- ⑪本製品はリプレースメントタイプ(ベースマットレス不要)です。必ずベッドの上に直接設置してください。
- ⑫本製品のサイズとベッドサイズを確認の上、設置してください。
【適合ベッドサイズ】幅78cm～83cm／長さ191cm～200cmを目安にしてください。
適合ベッドサイズ以外での使用は、はさみ込みなどの危険があります。
- ⑬リモコンやエアポンプに水やその他液体をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。
感電や故障につながるおそれがあります。
- ⑭電源プラグは確実にコンセントに接続してください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑮電源プラグやリモコンを濡らしたり、燃えやすい物を近くに置かないでください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑯電源コードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
感電や火災につながるおそれや故障の原因になります。
- ⑰電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑱電源の電圧および許容電流値に注意してください。
本製品はAC100V、58W(ヒーター部：54W)です。故障や発熱による事故につながるおそれがありますので、タコ足配線など許容を超える接続をしないでください。
- ⑲エアポンプやリモコン、体圧・体動センサーの改造はしないでください。
発火や異常動作などにより事故やケガをするおそれがあります。
- ⑳熱い物の近くに置かないでください。
火災・変形・破損につながるおそれがあります。
- ㉑長期間使用しない場合や体圧・体動センサー、エアポンプをお手入れする場合は、必ず電源プラグをコンセントから外してください。
感電・火災・故障の原因になります。
- ㉒本来の目的以外に使用しないでください。
思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。
- ㉓サイドレールはマットレス上面より22cm以上高さがある物を使用してください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。
- ㉔体位変換機能を使用する場合は、患者様周辺および取り付けられているコードやチューブなどにかからまったり、引っ張られるような負荷が掛からないように十分注意してください。

注意事項

- ②⑤ ベッドや機器類のキャスターなどで電源コードやリモコンコードがはさまれていないか十分注意してください。
感電や火災につながるおそれや故障の原因になります。
- ②⑥ リモコンコードや電源コードが患者様や機器類に絡まないように十分注意してください。
- ②⑦ 安全に使用するため、始業前点検、保守点検は必ずおこなってください。(P42～P44参照)
- ②⑧ EMC(電磁両立性)の試験(JIST0601-1-2:2019医用電気機器)は適合していますが、他の機器類に影響がないことを確認の上、使用してください。
- ②⑨ 見守りアシスト機能は患者様の体動を見守るうえでの手助けをするものです。ベッド上での安全を保証するものではありませんのでご注意ください。
- ③⑩ ナースコール接続時にはアラームが作動することを確認してください。(P34参照)
接続が確実にされていない場合は、ナースコールが作動せずに危険な状態がお知らせできなくなります。
- ③⑪ レイオスによって得られた情報のみで患者様の状態を判断しないでください。
レイオスの情報に基づく臨床判断は、医師が機能を十分に把握し、他の検査結果と合わせて総合的に判断をしてください。
- ③⑫ 心電計をご使用中に心電波形にノイズが現れた場合は、心電計側のフィルターを使用するか心電計メーカー様へご相談ください。
- ③⑬ 3芯電源プラグ(アダプター式)の先端アダプターをはずして使用した場合も、EMC(電磁両立性)の試験(JIS0601-1-1:2019医用電気機器)は適合しています。
使用する心電計の機種によっては波形にノイズが現れる可能性がありますので、ご理解の上、アダプターをはずしてください。



注意 ※障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

- ① 本製品の上に厚手のマットレスやパッドを使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故や故障の原因になります。
- ② リモコン操作は、医師または看護師などの医療従事者がおこなってください。
- ③ 【送風機】機能で多汗症(疾病により汗が多い)の方は、気化熱により体温が低下する場合がありますので注意してください。
【送風機】機能は、エアマットレス特有の弱点を対策するための製品仕様の一部で、温度調整機能や冷房機能ではありません。
- ④ 電気毛布・電気アンカなどは誤動作の原因になりますので使用しないでください。
- ⑤ 発汗による脱水症状に注意してください。
【ヒーター】機能は、エアマットレス特有の弱点を対策するための製品仕様の一部で、温度調整機能や暖房機能ではありません。
体や寝床を温める必要がある場合は、別途暖房手段をとってください。
【ヒーター】機能の効果が出るのは、布団をかけていることが条件となります。
- ⑥ リモコンの液晶画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。また、鋭利な金属などで押ししたりしないでください。
液晶画面のガラスが割れて、けがの原因になります。
- ⑦ 液晶画面が割れた場合は、液晶画面内部の液体に絶対に触らないでください。
皮膚の炎症などの原因になります。
万が一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師とご相談ください。
目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師とご相談ください。
- ⑧ 製品を使用する患者様が換わる場合は、アルコールなどで十分に消毒後、使用してください。
- ⑨ 睡眠・覚醒・離床・体圧データなどの測定データは、実際の患者様の動きと必ず一致するものではありませんので注意してください。
- ⑩ レイオスのナースコール接続用プラグは3芯電源プラグ用です。ナースコールの分配器の接続には専用の接続コードが必要です。
ナースコールの分配器についてはナースコールメーカー様へお問い合わせください。
- ⑪ ナースコール接続用プラグにナースコールケーブルを確実に接続し、見守りアシスト機能のアラームがナースコールシステムで作動することを必ず確認してください。
- ⑫ ナースコール接続用プラグは銅合金を使用しています。塗装がはがれた場合は、肌に触れるおそれがありますので金属アレルギーの方はご注意ください。

注意事項

注意 ※本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

- ①本機は精密機器ですので、丁寧に扱ってください。
強い衝撃を与えると故障の原因になります。
- ②体圧・体動センサーやマットレス表面をつまんだり持ち上げたりしないでください。
体圧・体動センサーの中の支持部に移動コンポーネントがあり、それらの間の部分をつまんだりしないようにしてください。
体圧・体動センサーが破損するおそれがあります。
- ③体圧・体動センサーのケーブルを持って引っ張らないでください。
体圧・体動センサーが破損するおそれがあります。
- ④体圧・体動センサーやマットレスを折り曲げた状態で保管しないでください。
体圧・体動センサーの破損やウレタンフォームが変形するなどのおそれがあります。
- ⑤人が乗っている状態でセンサー部を引っ張らないでください。
- ⑥リモコンコードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
破損するおそれがあります。
- ⑦リモコンを寝床の中に入れたり、暖房器具に近づけたりしないでください。
- ⑧湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
サビ・カビの発生や故障の原因になります。
- ⑨リモコンやマットレスを落下させたり、ぶつけたりしないでください。
体圧・体動センサー・エアポンプ・リモコンの故障や損傷、寿命低下の原因になります。
- ⑩マットレスの上や下に突起物を置かないでください。
体圧・体動センサーの破損やマットカバーの破れなどの原因になります。
- ⑪メンテナンス目的以外でマットレスを分解しないでください。
破損や故障などの原因になります。
- ⑫液晶タッチパネルをアルコールなどの水分を含むもので拭かないでください。
液晶画面の白濁や故障などのおそれがあります。
- ⑬患者様の体重制限は150kgまでです。
150kgを超えると、体圧・体動センサーやマットレスの破損や故障の原因になります。
- ⑭マットレスを持ち運ぶ場合や保管時には、電源コードとリモコンを収納袋に入れてマットレス内におさめてください。
落下やほこり、静電気などにより故障するおそれがあります。
- ⑮フィルター交換の目安は1年となります。
フィルターが目詰まりすると、エアポンプの性能が低下したり、寿命が短くなるおそれがあります。
- ⑯乾燥した室内では静電気の放電が起こりやすくなります。
破損や誤動作の原因になりますので、室内を加湿するか、患者様・被験者・操作者を共に十分放電して使用してください。
- ⑰本機の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。
患者様と直接接触したものは感染のおそれがある場合は、医療廃棄物として処理してください。
- ⑱リモコン側面にある黒いキャップは、取り外さないでください。
- ⑲使用環境および保管環境については、右記に従ってください。
- ⑳電源コンセントは3芯タイプのもをご使用ください。
- ㉑体圧・体動センサーで取得したデータやマットレスの設定情報を外部記録媒体(パソコンまたはSDカード)に保存する場合は、セキュリティ対策を施した安全なパソコンまたはSDカードに接続してください。
セキュリティに問題のあるパソコンやSDカードを接続すると、コンピュータウイルスなどによるデータの破損や情報漏洩などが発生するおそれがあります。

環 使 用 保 管 環 境	使用・保管温度	10℃～40℃
	使用・保管湿度	30%～75%RH(結露無し)
	使用・保管気力	700hPa～1060hPa

■以下に一般的な対策の例を挙げます。

【静電気による影響】

乾燥した環境(部屋)では静電気の放電が起こりやすいので下記の対策をとってください。

- ・装置を使用する前に、測定者、患者様共に十分に放電を行ってください。
- ・部屋を加湿してください。

【電源コンセントを伝って、他の機器から高周波雑音が入る場合】

- ・雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置などにより対策してください。
- ・雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止めてください。
- ・他の電源コンセントから電源をとってください。

目次

各部名称	P5
設置方法	P6
1.マットレスの設置／2.電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納袋から取り出す／3.リモコンをフットボードに掛ける／ 4.電源プラグをコンセントに差し込み、電源ボタンを押す／5.日時設定の確認／6.シーツの取り付け	
長期間使用しない場合の収納方法	P8
液晶タッチパネル操作および機能説明	P9
ご使用の前に	
電源／液晶タッチパネルの表示／【戻る】ボタン／①体圧モニター／②無体動時間／③ポジショニングセル状態／ ④除圧動作／⑤体位変換・体位保持／⑥見守りアシスト機能 設定状態	
メインメニュー	P11
①操作ロック／②送風機／③ヒーター／④ウォーム&クール／⑤背上げ／⑥ケア	
マットレス設定	P13
①かたさ調整／②除圧動作／③超低圧自動調整モード／④かたさ調整・除圧動作表示	
ポジション設定	P14
①ポジショニング自動変換／②ポジショニング体位指定	
体動ログ	P17
①日付／②体動ログ	
システム設定	P19
①日時設定／②画面設定／③点検モード／④設定リセット／⑤見守り設定／⑥管理者設定	
終了メニュー	P30
エラーの対処およびセーフモード	P31
エラー表示	
セーフモード	
エラーモード一覧表	
ナースコールへの接続	P34
緊急時にポジショニングセルの空気を抜く方法	P35
フィルター交換方法	P35
電源コンセントが抜けていた場合、または停電時の対応	P35
運搬・保管方法	P36
お手入れ方法	P37
EMC(電磁両立性)について	P38
このようなときには	P39
点検チェックシート	P42
仕様	P45

使用目的

マットレス上での体動を検出し、睡眠障害の評価。

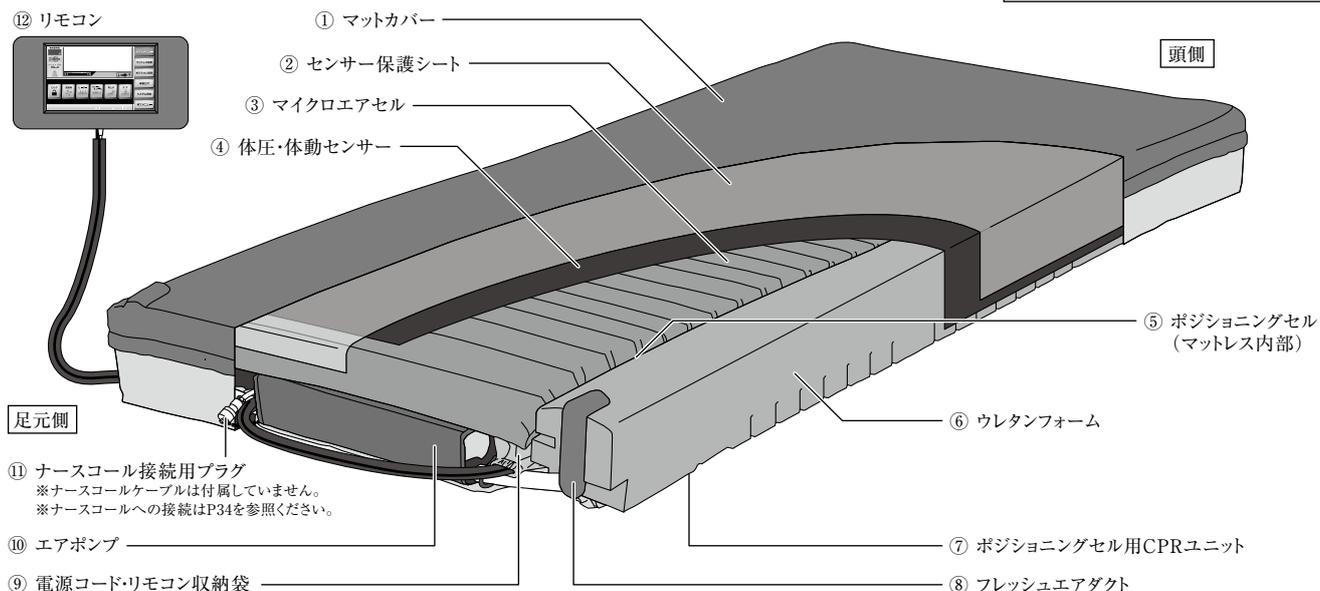
- 全身の体圧計測
- 体動の計測
- 最適な体圧への調整
- 自動体位変換

各部名称

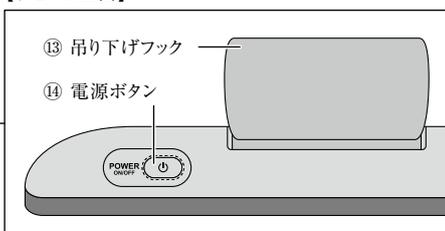
以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求め先にご連絡ください。

【付属品】

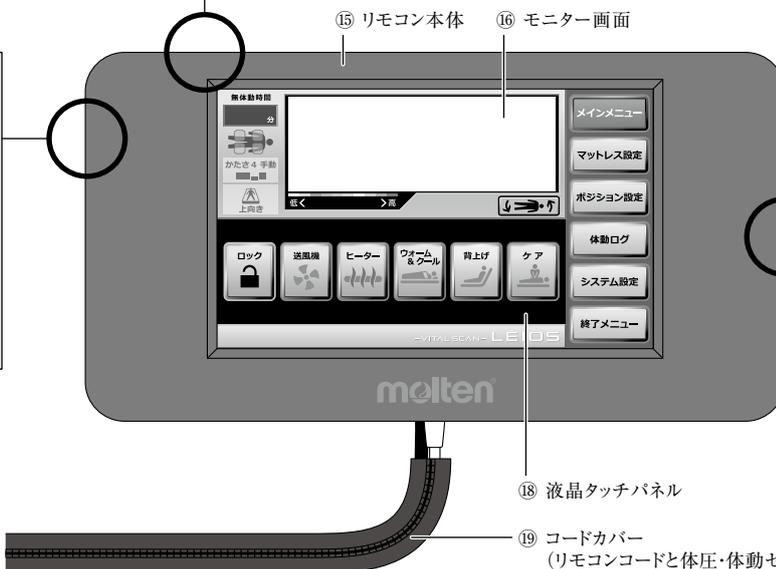
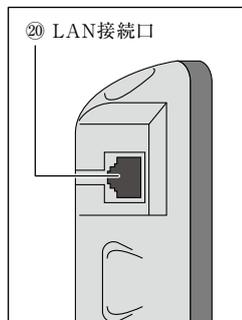
- 添付文書：1部
- 取扱説明書 兼 保証書：1部



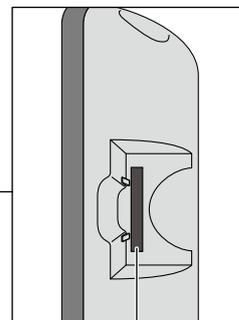
【リモコン上面】



【リモコン左側面】

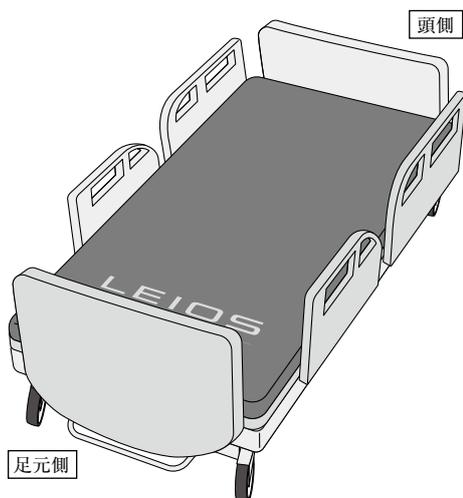


【リモコン右側面】



設置方法

1 マットレスの設置



ベッドの上に直接マットレスを置いてください。



警告

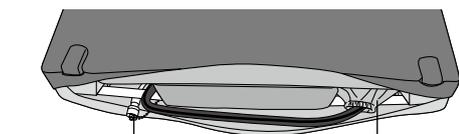
- ①安全のため必ずサイドレールを使用してください。
- ②マットレスは必ず頭側と足元側を確認し設置してください。また、マットレスの表と裏を逆にして使用しないでください。本来の性能が発揮されず、症状の悪化や思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- ③本製品はリプレースメントタイプ(ベースマットレス不要)です。必ずベッドの上に直接設置してください。
- ④本製品のサイズとベッドサイズを確認の上、設置してください。
【適合ベッドサイズ】
幅78cm～83cm／長さ191cm～200cmを目安にしてください。

2 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納袋から取り出す

- ①マットカバーを開いて電源コード・リモコン収納袋から電源コードとリモコンを取り出してください。

取り出した後、電源コード・リモコン収納袋はマットカバー内に入れてください。

※電源コードとリモコンコードは、マットカバーのファスナーの端から出してください。

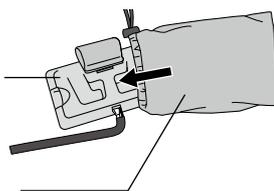


ナースコール接続用プラグ

※ナースコールケーブルは付属していません。
※ナースコールへの接続はP34を参照ください。

電源コード・リモコン収納袋

リモコン



※電源コード・リモコン収納袋の口を絞る「ひも」がマットカバー内のホースに結ばれています。紛失しないためにも「ひも」をほどかないでください。

※電源コード・リモコン収納袋は、エアポンプの横に収納してください。

- ②電源コードとリモコンを取り出した後、マットカバーを閉めてください。

- ①レイオスのナースコール接続用プラグは3Pプラグ用です。ナースコールの分配器の接続には専用の接続コードが必要です。(P34参照)

ナースコールの分配器についてはナースコールメーカー様へお問い合わせください。

- ②ナースコール接続用プラグにナースコールケーブルを確実に接続し、見守りアシスト機能のアラームがナースコールシステムで作動することを必ず確認してください。(P34参照)

- ③ナースコールを接続しない場合は、プラグ先端のキャップを取り付けた状態で使用してください。取り外した状態で使用すると故障の原因となります。

3 リモコンをフットボードに掛ける

リモコン上部の吊り下げフックを、ベッドのフットボードなどに掛けてください。

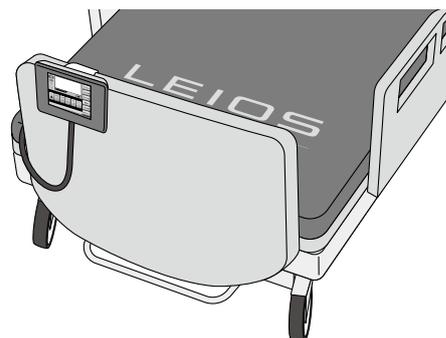


警告

リモコンコードがはさまれていないか十分注意してください。

注意

リモコンが落下しないよう十分注意して掛けてください。



設置方法

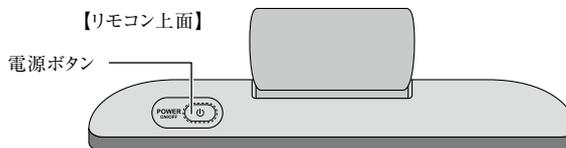
4 電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押す

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコン上面の電源ボタンを押してください。

※リモコンの詳しい設定方法はP9～P30を参照してください。

※マイクロエアセルは約8分で空気がいっぱいになります。

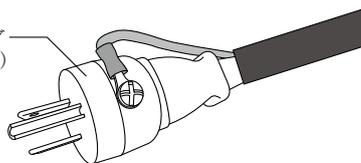
① 使用中は必ず電源プラグをコンセントに差したままにしておいてください。



- ① 電源電圧は必ずAC100Vで使用してください。
消費電力は58W (ヒーター部：54W)です。
- ② 電源コンセントは3芯タイプのものを使用してください。

注意

3芯電源プラグ
(アダプター式)



5 日時設定の確認

【日時設定】で日時が合っているか確認してください。

※日時の確認および設定方法はP19を参照してください。

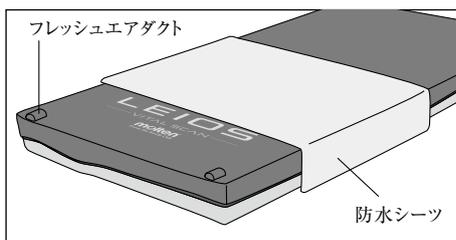
6 シーツの取り付け

基準シーツ……………フレッシュエアダクトごと覆い、シーツの端を巻き込んでください。

ボックスシーツ……………フレッシュエアダクトごとマットレス全体を包み込むようにかぶせてください。

防水シーツ……………フレッシュエアダクトを覆わないように取り付けてください。
フレッシュエアダクトから空気が出ず、送風機能が発揮されません。

【防水シーツの場合】

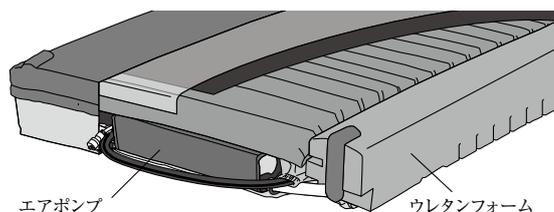


フレッシュエアダクトを覆わないでください。

※基準シーツ、ボックスシーツおよび防水シーツは
付属していません。

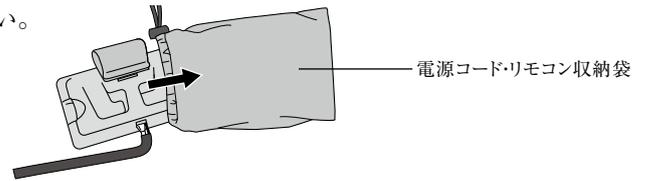
注意

シーツ取り付け時に足元のマットレスを持ち上げすぎると
内蔵のエアポンプが重みで下がりウレタンフォームがエア
ポンプに乗り上げる場合があるので注意してください。

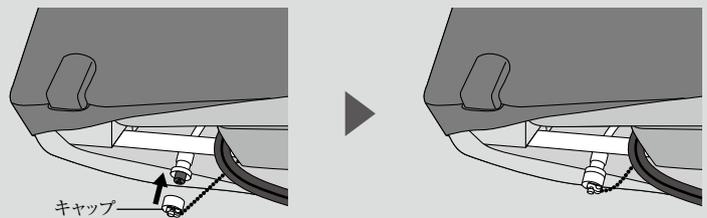


長期間使用しない場合の収納方法

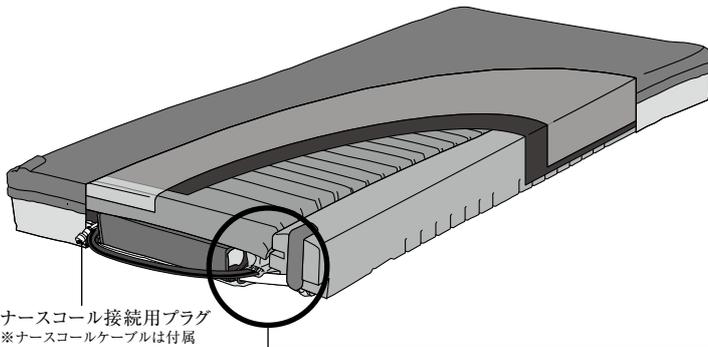
- ①リモコンの電源を落としてください。
- ②電源プラグを抜いてください。電源プラグを抜くと、電源がすべて遮断され、機能停止します。
- ③電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納袋におさめてください。



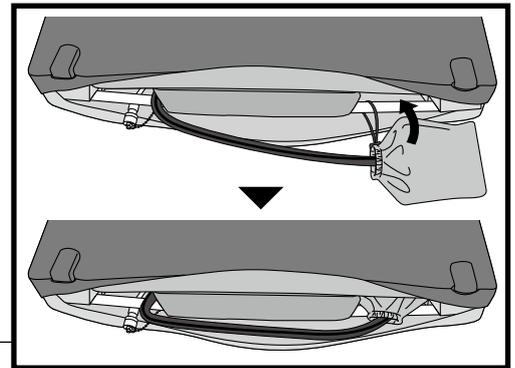
ナースコールケーブルを接続している場合は、ナースコール接続用プラグから外し、キャップをしめてください。



- ④マットカバーを開いて電源コード・リモコン収納袋をマットレス内におさめてください。
※マットカバー内のホースに結ばれている電源コード・リモコン収納袋の口を絞る「ひも」はほどかないでください。



ナースコール接続用プラグ
※ナースコールケーブルは付属していません。
※ナースコールへの接続はP34を参照ください。



- ⑤ナースコールと接続して使用していた場合は、ナースコール接続用プラグからケーブルを取り外し、プラグ部分はキャップをしめた状態にしてください。
- ⑥マットカバーを閉めて、収納完了です。

液晶タッチパネル操作および機能説明

ご使用の前に



電源



リモコンの上面にある電源ボタンを押すと電源が入り、液晶タッチパネルが起動し、メインメニューが表示されます。
※再度電源を入れ直した場合は、前回の設定状態となります。停電の場合も同様に、停電前の設定状態になります。

液晶タッチパネルの表示



パネルにタッチすると、選択したボタンの色が変わります。

※メインメニュー以外の画面で、画面タッチが5分以上ない場合は、自動でメインメニューに戻ります。(エラー表示時や点検モード中は除く)

●画面消灯について

10分間(初期設定)画面タッチがない場合は、自動で画面消灯します。また電源ボタンを押すことでも画面消灯します。

画面タッチすると再点灯します。

【戻る】ボタン



各設定画面の右下には【戻る】ボタンがあり、直前の画面に戻ることができます。
設定完了後は、【戻る】ボタンまたはメニューボタンをタッチして各メニューの画面へ移動してください。

液晶タッチパネル操作および機能説明

①体圧モニター

体位変換モニター

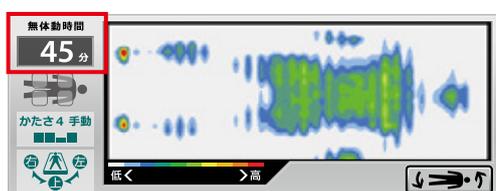


マットレスに患者様が乗ると体圧データが計測され色に置き換えてモニターに表示されます。

表示の向きをボタンタッチで反転させることができますので、使用する場面に応じて設定してください。

※体位変換モニターも連動して反転されます。

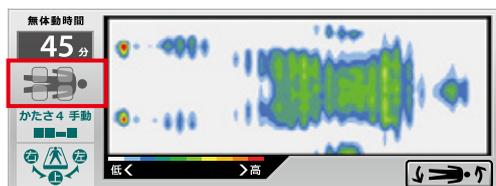
②無体動時間



患者様が体動していない時間(姿勢を保持している時間)を表示して、1分毎にカウントアップします。

※重心位置が移動すると、カウントがリセット(0分)されます。

③ポジショニングセル状態



体位変換・体位保持時のポジショニングセルの状態を表示します。

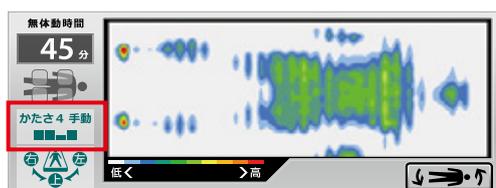
※排気状態: 消灯(グレー)

給排気中: 点滅

給気状態: 点灯(オレンジ)

※表示する内容は「ポジション設定」(P14～P16)を参照してください。

④除圧動作

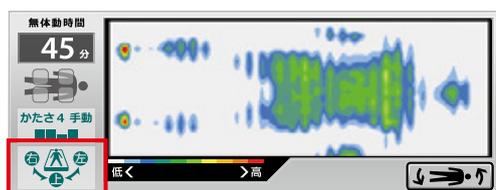


マイクロエアセルの除圧動作の設定状態を表示します。

上段にかたさ調整の数値【かたさ1】(ソフト)～【かたさ7】(ハード)および【手動/自動】の設定、下段に除圧動作の設定が表示されます。

※表示する内容は「マットレス設定」(P13)を参照してください。

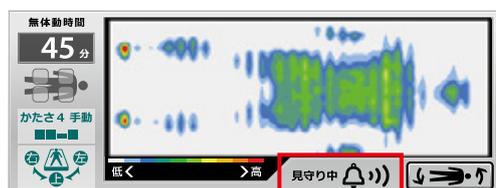
⑤体位変換・体位保持



体位変換・体位保持時の設定状態を表示します。

※表示する内容は「ポジション設定」(P14～P16)を参照してください。

⑥見守りアシスト機能 設定状態



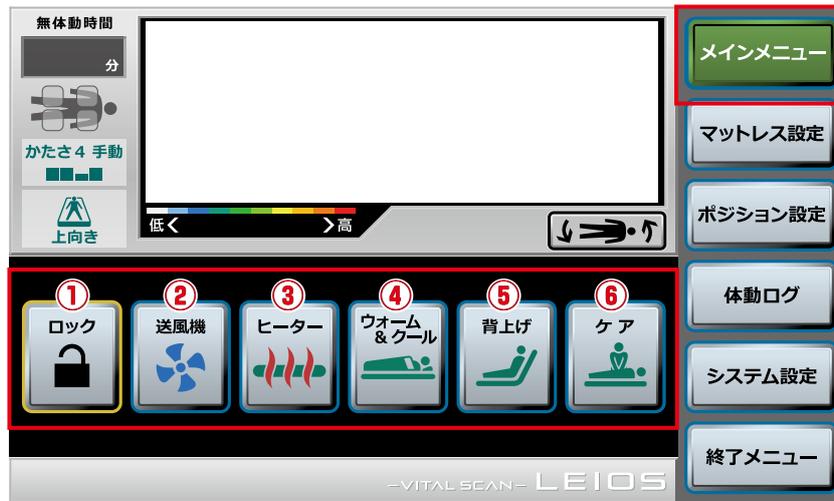
見守りアシスト機能の設定時に表示されます。

※設定方法は「システム設定」(P22、P23)を参照してください。

※【ケア】および【セーフモード】の場合は、一時停止の状態になります。

液晶タッチパネル操作および機能説明

メインメニュー



① 操作ロック



【解除状態】



【ロック状態】

誤操作を防止するために、タッチ操作ができないようにロックすることができます。
メイン画面の【ロック】ボタンにタッチしてください。



キーロックを解除する場合には、アラート(注意)が表示されますので、
【実行】ボタンをタッチして解除してください。

液晶タッチパネル操作および機能説明

②送風機



マットレスの足元2ヶ所にあるフレッシュエアダクトから室内の空気を送り込み、寝床内の湿った空気を換気することで身体とマットレスの間に生じる「むれ」を緩和します。

- ※動作中は【送風機】ボタンの色が変わります。(30分動作・15分停止の断続運転、【送風機】ボタンは常時点灯します)
- ※体を冷やすための冷房機能や温度調整機能ではありません。

③ヒーター



マットレス内部にヒーターが内蔵されており、マットレス表面を常温(32℃程度)に維持し、患者様の「ひえ」を緩和します。

- ※動作中は【ヒーター】ボタンの色が変わります。(32℃程度を保つよう、連続動作します)
- ※体を温めるための暖房機能や温度調整機能ではありません。
- ※【ヒーター】で常温維持される範囲は、ヒーターが内蔵されている足元側(マットレスの1/2の範囲)です。

④ウォーム&クール



【ヒーター】を[1]45℃で20分・[2]40℃で20分、【送風機】を20分、合計60分のセットを自動でおこないます。終了後は【ウォーム&クール】実施前の設定に戻ります。

- ※動作中は【ウォーム&クール】ボタンの色が変わります。
- ※【送風機】と【ヒーター】を自動でおこないますので、【送風機】と【ヒーター】の設定はできません。(表示は消灯します)
- ※体を温めるための暖房機能や温度調整機能ではありません。
- ※【ヒーター】で常温維持される範囲は、ヒーターが内蔵されている足元側(マットレスの1/2の範囲)です。
- ※右下の時計マークで1分毎にカウントダウンします。
- ※各設定時間・温度は【システム設定/管理者設定/寝床内気候】により個別に設定できます。
- ※安全のため、【ウォーム&クール】機能は連続で使用できません。使用できるようになるまで、直前に使用した【ウォーム&クール】のヒーター動作時間と同じ時間が掛かります。
- 例)【ウォーム&クール】機能を自動で終了させた場合は、ヒーターが40分(初期設定)動作しているため、その後40分間は使用できません。

⑤背上げ

※マットレスを背上げする機能ではありません。



患者様を頭側挙上する場合には、背中、臀部やかかとに高い圧が発生します。

本来なら人の手による「背抜き動作」をおこない圧を緩和しますが、【背上げ】ボタンをタッチすることで圧の低減をおこないます。体位変換実施時はマットレスが上向きになります。

- ※動作中は【背上げ】ボタンの色が変わります。
- ※約120分で【背上げ】が自動で解除されます。(表示は消灯します)
- 【入】後、背抜き動作が作動します。【切】後、圧抜き動作が作動します。【背上げ】選択前の自動体位変換・体位指定の動作は解除されます。
- ※手動で解除後は、もとのマットレス状態に戻ります。
- ※約120分以上背上げをする場合は、再度ボタンをタッチして設定してください。
- ※右下の時計マークで1分毎にカウントダウンします。
- ※【背上げ】と【ケア】は同時に選択できません。

⑥ケア

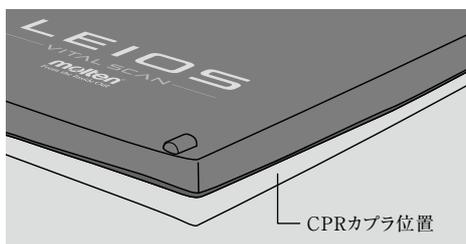


体位変換実施時はマットレスが上向きになります。

除圧動作が【静止型】でマットレスのかたさが、かたい状態になります。

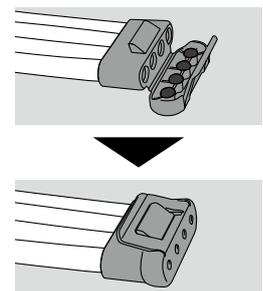
- ※上記の状態まで最大で約3分かかります。
- ※動作中は【ケア】ボタンの色が変わります。
- ※約60分でもとのマットレス状態に戻ります。(表示は消灯します)【切】後、圧抜き動作が作動します。
- ※右下の時計マークで1分毎にカウントダウンします。
- ※【背上げ】と【ケア】は同時に選択できません。
- ※【マットレス設定】と【ポジショニング設定】の設定はできません。
- ※【見守りアシスト機能】は一時停止の状態になります。

体位変換中に早くマットレスをフラットにしたい場合は、CPRカバーから空気を抜く方法もあります。



足元側から見て右側のシーツをめくり、CPR表示ラベルそばにある赤いCPRカバーを、取っ手を持って開けてください。約20秒で空気が抜けます。

- ① 再度使用する場合は、「カチッ」と音がするまで閉めてください。
- ※開いたままの状態では、体位変換ができません。



液晶タッチパネル操作および機能説明

マットレス設定



①かたさ調整



マットレスのかたさを7段階で設定できます。
左右の設定ボタンでかたさを選択してください。
※メインメニューには【かたさ調整】の設定状態が数字で表示されます。

②除圧動作

マットレスの除圧動作の設定をおこないます。
※設定した【除圧動作】はメインメニューのモニターに表示されます。
※動作中は選択した【除圧動作】ボタンの色が変わります。



除圧動作をせず、マイクロエアセル全体が均等なかたさとなります。
除圧動作が不要な場合は、こちらを選択してください。



患者様が身体を動かす回復期の場合は、こちらを選択してください。
※マットレスの凹凸の動き(圧切替=除圧)は25%の除圧(75%の接地)



患者様が安静期の場合は、こちらを選択してください。
※マットレスの凹凸の動き(圧切替=除圧)は50%の除圧(50%の接地)

③超低圧自動調整モード



体動を検知した場合は、体圧データをフィードバックし、エアセルの内圧を自動調整することで、常に最適な圧管理をおこないます。
※かたさを自動で調整するため、【かたさ調整】の設定はできません。
※設定表示には自動で選択されたかたさが表示されます。

④かたさ調整・除圧動作表示

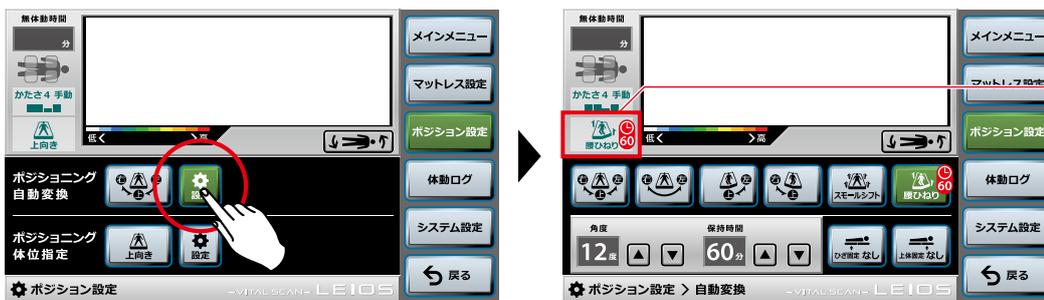
【手動の場合】 【自動の場合】 上段でかたさ調整の数値【かたさ1】(ソフト)～【かたさ7】(ハード)および【手動/自動】の設定、
かたさ4 手動 かたさ4 自動 下段で除圧動作の設定が表示されます。

液晶タッチパネル操作および機能説明

ポジション設定



① ポジショニング自動変換



選択されている【ポジショニング自動変換】のアイコンが表示されます。

自動体位変換をおこないます。(設定した動作を繰り返しおこないます)

【設定】ボタンをタッチすると動作設定画面に移動しますので、身体状況に合った設定をおこなってください。

傾く方向は患者様側から見た方向になります。

※動作中は選択した【ポジショニング自動変換】ボタンの色が変わり、左上の【体位変換・体位保持】画面に表示されます。

※標準設定では以下の設定となります。上下の設定ボタンで角度、保持時間を選択できます。

- 角度=12度
- 保持時間=約30分(3体位変換)

※体位変換をおこなう4つのポジショニングセルは、それぞれひとつずつ動作をおこないます。



動作は【右上げ】⇄【上向き】⇄【左上げ】の3体位変換を繰り返しおこないます。



動作は【右上げ】⇄【左上げ】の2体位変換を繰り返しおこないます。上向きの状態で静止しません。



動作は【上向き】⇄【左上げ】の2体位変換を繰り返しおこないます。



動作は【右上げ】⇄【上向き】の2体位変換を繰り返しおこないます。



動作は右ひざ(上げ下げ)⇒右上体(上げ下げ)⇒左上体(上げ下げ)⇒左ひざ(上げ下げ)の一連の動作を繰り返しおこないます。

液晶タッチパネル操作および機能説明



動作は下肢用と上体用のポジショニングセルで互い違いに体をひねることで腰ひねりの体位にすることができます。
約60分でもとの設定に戻ります。
※60分間で左右のひねりを各1回ずつおこないます。約60分でもとのマットレス状態にもどります。
※右上の時計マークで1分毎にカウントダウンします。



ひざ側のポジショニングセルの動作固定を設定します。
ボタンタッチ毎に【なし】⇒【上げ】⇒【下げ】⇒【なし】と切り替わります。
※【なし】の場合は、消灯します。



上体側のポジショニングセルの動作固定を設定します。
ボタンタッチ毎に【なし】⇒【上げ】⇒【下げ】⇒【なし】と切り替わります。
※【なし】の場合は、消灯します。

※【ひざ固定】と【上体固定】を同時に選択することはできません。

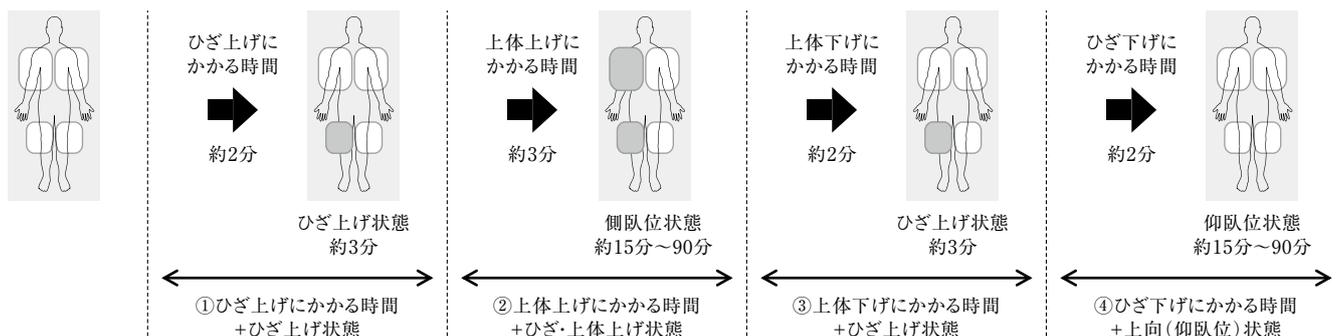


体位変換動作の角度設定をおこないます。
ボタンタッチ毎に【4度】⇄【8度】⇄【12度】⇄【16度】と切り替わります。



体位変換動作の保持時間設定を10分～120分の範囲で、5分単位でおこなえます。

●自動体位変換の動きと所要時間



設定	①	②	③	④	①～④の合計
15分	5分	15分	5分	15分	40分
30分	5分	30分	5分	30分	70分
60分	5分	60分	5分	60分	130分
90分	5分	90分	5分	90分	190分

※条件により、若干変動があります。
※左記の時間は【上向き】⇄【右上げ】もしくは【上向き】⇄【左上げ】にかかる時間です。
【右上げ】⇄【上向き】⇄【左上げ】の体位変換にかかる時間は、【上向き】⇄【右上げ】と【上向き】⇄【左上げ】を合わせた時間となりますので、①～④の2倍の時間となります。

②ポジショニング体位指定



選択されている【ポジショニング体位指定】のアイコンが表示されます。

体位指定および角度の設定をおこないます。(設定した動作をおこないます)

【設定】ボタンをタッチすると動作設定画面に移動しますので、身体状況に合った設定をおこなってください。

傾く方向は患者様側から見た方向になります。

※動作中は選択した【ポジショニング体位指定】ボタンの色が変わり、左上の【体位変換・体位保持】画面に表示されます。

液晶タッチパネル操作および機能説明



通常のマットレスの状態にしたい場合は、こちらを選択してください。常に上向きになります。



患者様の左手側を体位保持したい場合は、こちらを選択してください。常に左上げの状態になります。



患者様の右手側を体位保持したい場合は、こちらを選択してください。常に右上げの状態になります。



患者様に軽度のひざの曲がりがある場合は、こちらを選択してください。常にひざ上げの状態になります。



常にセミファウラー位で安楽姿勢の状態になります。



体位指定の各ポジショニングセル角度を全て設定することができます。
※【カスタム】の場合は、【0度】に設定することができます。



警告

- ① ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作をおこなわないでください。
また、体位変換動作中にベッドの背上げをおこなわないでください。
※サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。【背上げ】ボタンをタッチすると約3分でフラットになります。
- ② 体位変換機能を使用する場合は、患者様へ取り付けてあるコードやチューブなどに、引っ張られるような負荷が掛からないように十分注意してください。

●角度設定

体位指定の角度を設定します。



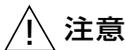
体位指定の角度設定をボタンタッチ毎に切り替えます。
ボタンタッチ毎に【4度】⇄【8度】⇄【12度】⇄【16度】と切り替わります。
※体位指定で選択されている部位を一括で変更します。
※選択した体位指定によって調整可能な部位が異なります。
※【カスタム】の場合は、【0度】に設定することができます。



体位指定の角度をポジショニングセル毎に設定することができます。
※角度が0度設定の場合：ボタンの色／グレー
角度が0度以外の場合：ボタンの色／緑
※ボタンタッチで選択すると角度が変更できます。
※選択した体位指定によって調整可能な部位が異なります。

■【ひざ上げ】で右足を4度、左足を8度に設定する場合

- ① 【ひざ上げ】ボタンにタッチします。
- ② 右足の角度設定にタッチして選択します。
- ③ 上下ボタンで角度を4度に設定します。
- ④ 左足の角度設定にタッチして選択します。
- ⑤ 上下ボタンで角度を8度に設定します。



注意

設定後に前の画面に戻ってポジショニングのボタンをタッチすると設定がリセットされますので注意してください。
※表示画面に現在の設定が表示されているので、確認してください。



液晶タッチパネル操作および機能説明

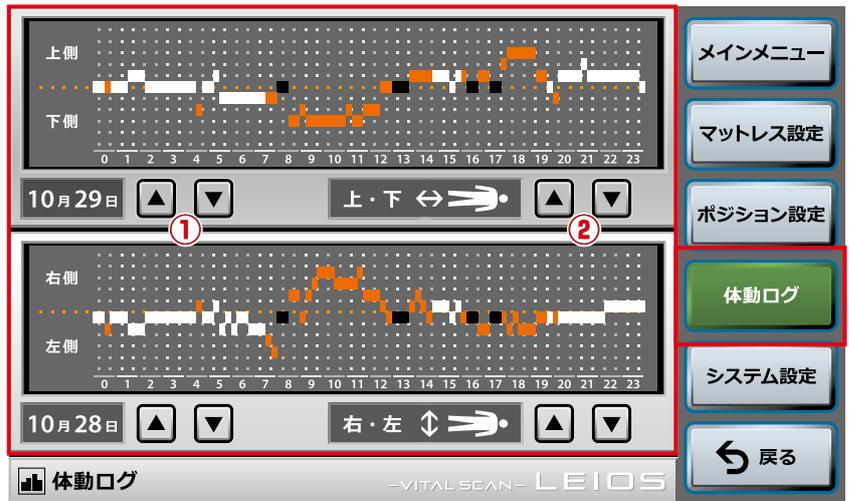
体動ログ

過去30日分の体動データを記録します。患者様の重心位置を時系列のグラフで表示します。

また、上画面と下画面で違う設定のログを表示することもできます。

【グラフの色が示す状態】

- ・白：睡眠(安静)状態
 - ・オレンジ：覚醒(活動)状態
 - ・グレー：離床状態
 - ・グリーン：ポジショニングセルの動作
 - ・無印：計測していない状態
- ※電源が入っていない場合、未来など



※睡眠・覚醒・離床・体圧データなどの測定データは、実際の患者様の動きと必ず一致するものではありませんので注意してください。

①日付



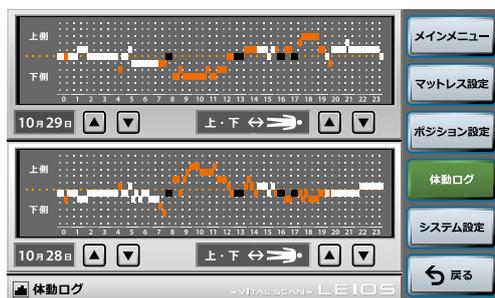
日付を表示します。過去30日分のデータを上下ボタンで表示させることができます。

※31日前のデータは自動的に消去されます。

②体動ログ

体動ログの設定をボタンタッチ毎に切り替えます。

ボタンタッチ毎に【上・下】⇔【右・左】⇔【体動回数】⇔【ポジション】と切り替わります。

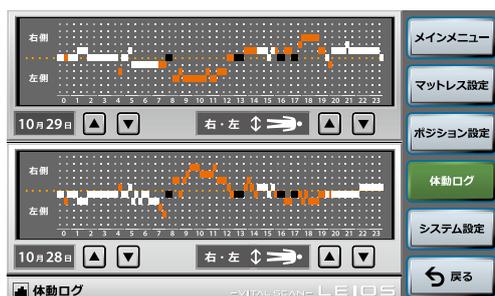


●重心位置(上・下)

体圧データから重心位置を算出し、上下の重心の変化を表示します。

- ・グラフ上の重心の位置は15分毎の平均値が表示されます。
- ・グラフの中心(オレンジの点線)はマットレスの上下方向の中心*で最大15cmの変化*を±5段階で表示します。

※管理者設定/制御数値設定/体動ログで変更できます。



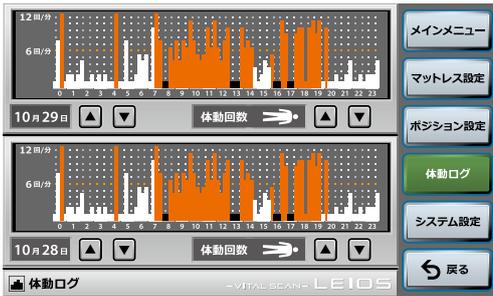
●重心位置(右・左)

体圧データから重心位置を算出し、左右の重心の変化を表示します。

- ・グラフ上の重心の位置は15分毎の平均値が表示されます。
- ・グラフの中心(オレンジの点線)はマットレスの左右方向の中心*で最大20cmの変化*を±5段階で表示します。

※管理者設定/制御数値設定/体動ログで変更できます。

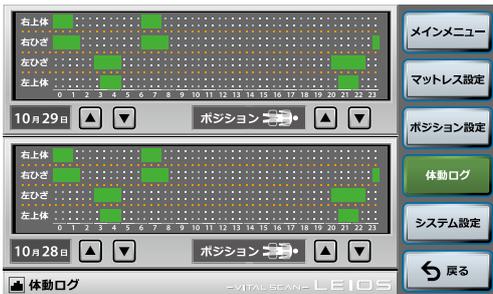
液晶タッチパネル操作および機能説明



●体動回数

体圧データから重心位置を算出し、1分間の体動回数を表示します。

- ・グラフ上の体動回数は15分毎の平均値が表示されます。
- ・最大12回／分の体動*を10段階で表示します。
※管理者設定／制御数値設定／体動ログで変更できます。

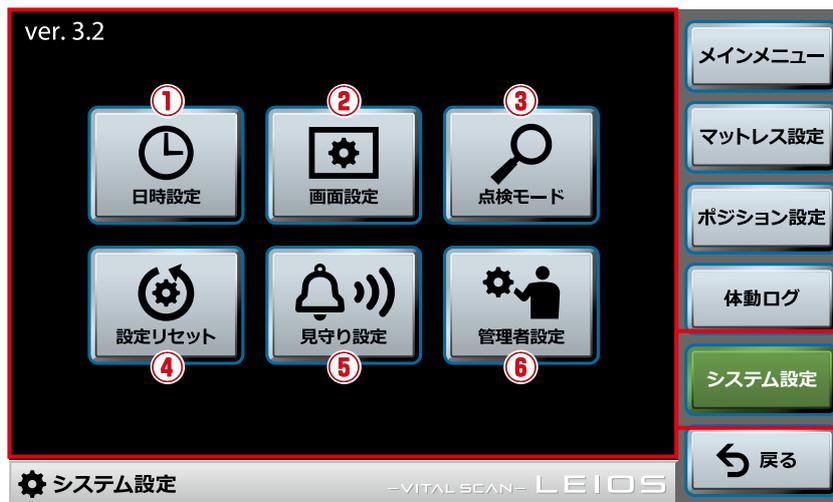


●ポジション

ポジショニングセルの動きをグリーンでグラフ表示します。

液晶タッチパネル操作および機能説明

システム設定



① 日時設定



現在の日時を確認および設定します。

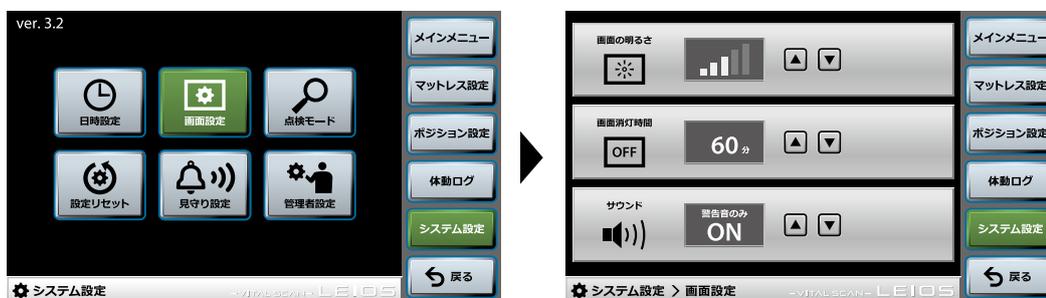
設定したい部分のボタンをタッチして選択してください。選択されると枠が緑に変わります。

- ※上下ボタンで1単位ずつ数値を変更します。
- ※複数ボタンの同時選択はできません。

【変更】ボタンをタッチすると、新しい日時が反映されます。

- ※【変更】ボタンをタッチせずに他の画面に移動した場合は、変更は反映されません。日時確認の場合は、【戻る】ボタンをタッチして前画面に移動してください。
- ※表示の日は開いたときの日時になります。(設定中も時計は動いています)

② 画面設定



上下ボタンで【画面の明るさ】【画面消灯時間】【サウンド】が1段階ずつ設定できます。

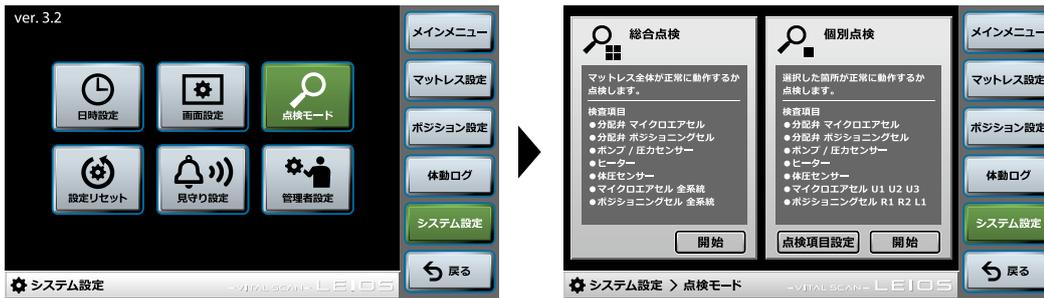
- 画面の明るさ：5段階
- 画面消灯時間：【なし】⇒【1分】⇒【5分】⇒【10分】⇒【30分】⇒【60分】
- サウンド：【なし】⇒【操作音のみ ON】⇒【警告音のみ ON】⇒【操作音+警告音 ON】

※操作音をONの状態にすると、ボタンタッチ時に音が鳴ります。

※警告音をONの状態にすると、マットレスの異常が発生した場合や見守りアシスト機能のお知らせ時に音が鳴ります。

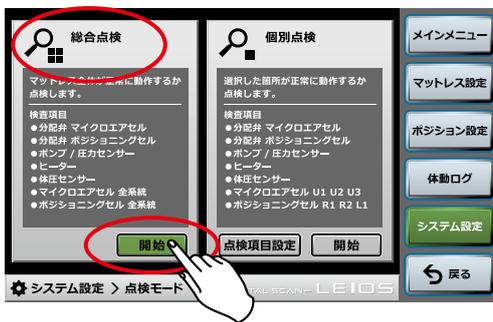
液晶タッチパネル操作および機能説明

③点検モード



マットレスに異常がないか簡易的に自動で点検をおこないます。

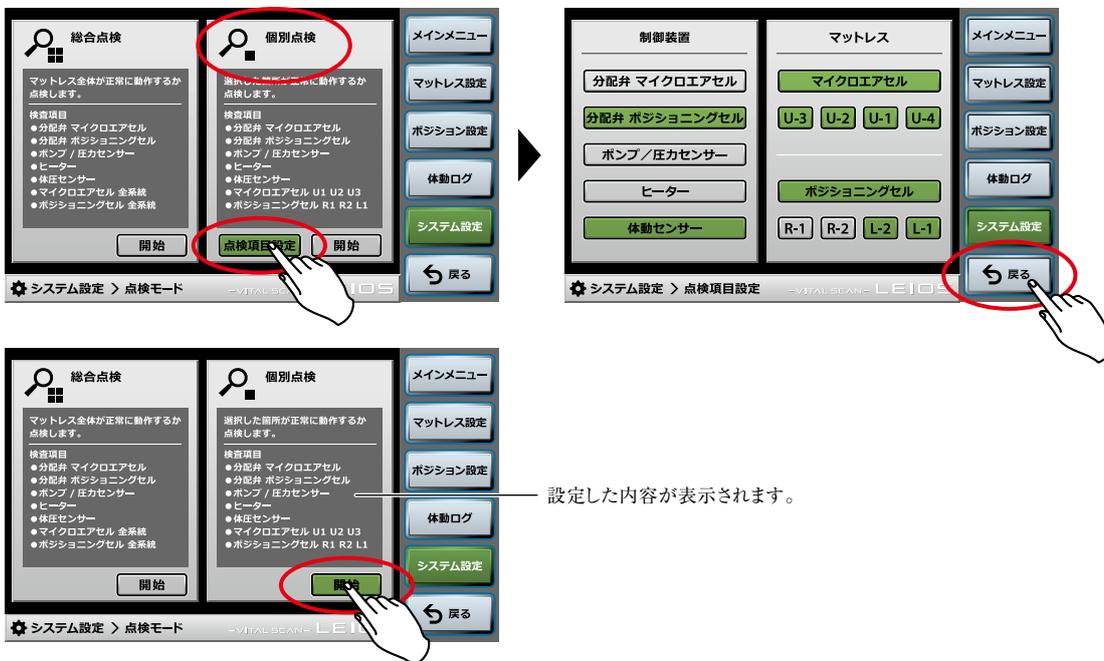
●総合点検



セルフチェック／ポンプとマットレス+体圧・体動センサーの点検をおこないます。

【開始】ボタンで総合点検を開始します。

●個別点検



総合点検の点検項目を個別に点検できます。【点検項目設定】から設定画面に入り、必要な項目を選択します。

【戻る】ボタンで前画面に戻れば【開始】ボタンでこの設定内容で点検開始できます。

※【マイクロエアセル】および【ポジショニングセル】は個別に設定できます。

液晶タッチパネル操作および機能説明

●点検開始

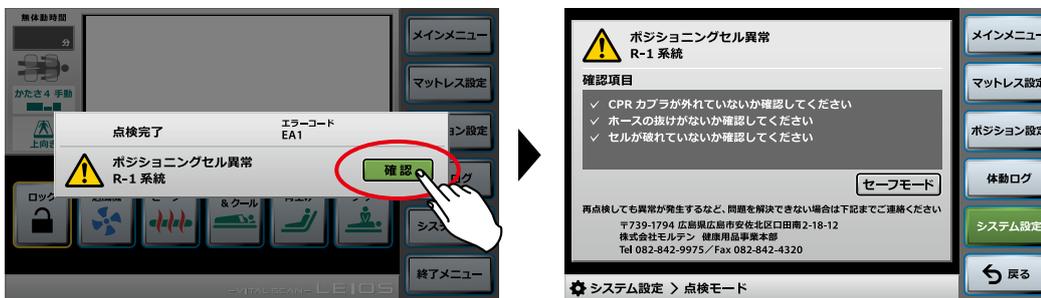
セルフチェックは約50分掛かり、点検中の項目が画面に表示されます。

※点検を中止する場合は、【戻る】ボタンをタッチしてください。



【異常がない場合】

正常に終了しました。【確認】ボタンをタッチしてメインメニューに戻ってください。



【異常がある場合】

異常があった場合は、エラー内容が表示されますので【確認】ボタンをタッチし、画面に表示された指示に従って確認してください。(P31～33参照)

問題が解消されると自動で検知してメインメニューに戻ります。

※メインメニューに戻るまで少し時間がかかります。

※異常が解消されない場合は、セーフモード画面に移行して機能限定で動作させることができます。(P31参照)

再点検しても異常が発生するなど、問題が解決できない場合は、(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

④設定リセット



【実行】ボタンで全ての設定をリセットします。

※【実行】ボタン以外の部分をタッチした場合は、リセットせずにシステム設定画面に戻ります。

【リセット操作時設定内容(初期設定)】

項目	状態
ロック	【解除】
送風機	【切】
ヒーター	【切】
ウォーム&クール	【切】
背上げ	【切】
ケア	【切】

項目	状態
かたさ	【4】
除圧動作	【安定重視】
超低圧自動調整	【切】
ポジション自動変換	【切】
ポジション体位指定	【上向き】
日時・時刻	リセットしない

項目	状態
画面の明るさ	【3】
画面消灯時間	【10分】
サウンド	警告音のみ【入】
見守りアシスト機能	【OFF】

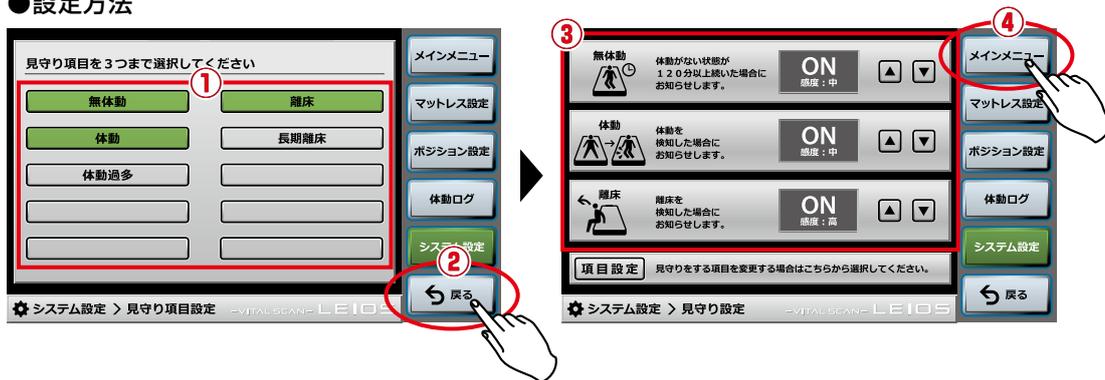
液晶タッチパネル操作および機能説明

⑤見守り設定



見守りアシスト機能の設定をおこないます。

●設定方法



①【項目設定】ボタンを押して見守り項目設定画面へと進み、見守りをしたい項目を選択します。

※最大3つの項目を同時に見守りすることができます。

②【戻る】ボタンを押して見守り設定画面へ戻り、見守りアシスト機能のON/OFF及び感度の設定をおこないます。ボタンタッチ毎に【ON 感度：低】⇔【ON 感度：中】⇔【ON 感度：高】⇔【OFF】と切り替わります。

※ONの状態にすると、選択した状態を検知するとリモコンの表示とアラーム音でお知らせします。

※感度を変更すると、お知らせする条件(時間や回数)の調整ができます。



③見守りアシスト機能がONの状態ではメインメニュー画面に戻ると、画面上に見守りアシスト機能がONの状態をあらわすアイコンが表示されます。(P10参照)

【ケア】を設定すると、【見守りアシスト機能】が一時停止状態になります。



●無体動

体動がない状態が続いた場合にお知らせします。

鎮静状態の確認や、体位変換をおこなう目安として確認できます。

【ON 感度：高】：体動がない状態が60分間*続いた場合にお知らせします。

【ON 感度：中】：体動がない状態が120分間*続いた場合にお知らせします。

【ON 感度：低】：体動がない状態が180分間*続いた場合にお知らせします。

※管理者設定/制御数値設定/見守りで「時間」の変更ができます。



●体動

体動を検知した場合にお知らせします。

鎮静状態から覚醒状態へ移行などの変化を確認できます。

※自動体位変換機能がONの状態で使用すると、患者様の体動がなくてもお知らせされる場合がありますのでご注意ください。

液晶タッチパネル操作および機能説明



●体動過多

体動が異常に多い場合にお知らせします。

意識障害によるベッドからの転落など、患者様の異常な行動による危険性を予知できます。

【ON 感度：高】：1分間に6回*以上の体動があった場合にお知らせします。

【ON 感度：中】：1分間に12回*以上の体動があった場合にお知らせします。

【ON 感度：低】：1分間に18回*以上の体動があった場合にお知らせします。

※管理者設定／制御数値設定／見守りで『回数』の変更ができます。

※自動体位変換機能がONの状態で使用すると、患者様の体動がなくてもお知らせされる場合がありますのでご注意ください。



●離床

ベッドからの離床を検知した場合にお知らせします。

患者様の離床や転落の状況をいち早く発見できます。

【ON 感度：高】：離床状態が4秒程度続いた場合にお知らせします。

【ON 感度：中】：離床状態が10秒程度続いた場合にお知らせします。

【ON 感度：低】：離床状態が60秒程度続いた場合にお知らせします。



●長期離床

離床状態が長時間続いた場合にお知らせします。

離床先での不測の事態(転倒・徘徊など)にいち早く対応できます。

【ON 感度：高】：離床状態が15分程度*続いた場合にお知らせします。

【ON 感度：中】：離床状態が30分程度*続いた場合にお知らせします。

【ON 感度：低】：離床状態が60分程度*続いた場合にお知らせします。

※管理者設定／制御数値設定／見守りで『時間』の変更ができます。

●お知らせ



見守りしている状態を検知するとリモコンの表示とアラーム音でお知らせします。リモコンには左記のようなアラートが表示されます。

①発生日時：見守りをしていた状態を検知した日時が表示されます。

②検知した状態：見守りアシスト機能で検知した状態が表示されます。

※複数の状態を検知した場合は、直近で発生した状態のみを表示します。

※マットレスのエラーが発生している場合は、見守りアシスト機能のアラートは表示されません。

【確認】ボタンを押すとリモコンの表示とアラーム音が消えます。

※ナースコールへ接続をしたときにアラームが鳴った場合は、レイオスおよびナースコール側でもアラームの解除をしてください。

見守り設定を行っているときはリモコンのメインメニューに『見守り中』のアイコンが表示されます。(P10参照)

【お知らせ内容一覧表】

見守り項目	検知時のメッセージ
無体動	体動がない状態が続いています
体動	体動を検知しました
体動過多	異常な体動を検知しました
離床	離床を検知しました
長期離床	離床状態が長時間続いています

誤検知を防ぐために、見守りを開始するまでに待機時間を30秒程度*設けています。

見守りアシスト機能をON状態にした直後やマットレスに乗った直後は、見守りしている状態を検知してもお知らせされません。

※管理者設定／制御数値設定／見守りで『時間』の変更ができます。



見守りアシスト機能は患者様の体動を見守る上での手助けをするものです。ベッド上での安全を保証するものではありませんのでご注意ください。

液晶タッチパネル操作および機能説明

⑥ 管理者設定

(1) 制御数値設定



マットレスや体圧・体動センサの設定など制御数値を変更することができます。



設定したい項目を選択し、上下ボタンで制御数値を変更します。

制御数値を変更後、【実行】ボタンをタッチすると設定の変更が反映されます。

※【実行】ボタンをタッチせずに他の画面に戻ると設定の変更が反映されませんのでご注意ください。



● 体圧表示

【最大圧力値】：体圧表示の最大圧力値(カラーバーの赤相当)を変更できます。

【最小圧力値】：体圧表示の最小圧力値(カラーバーの薄青相当)を変更できます。



● 体動判定

【無体動時間 体動確定回数】：
無体動時間をリセットする条件(体動回数)を変更できます。

【離床判定】：離床と判定する重量を変更できます。

液晶タッチパネル操作および機能説明



●体動ログ

【重心ゼロ点 (上下)】:

体動ログで表示される重心位置 (上下)のグラフのゼロ点を変更できます。

【重心ゼロ点 (左右)】:

体動ログで表示される重心位置 (右左)のグラフのゼロ点を変更できます。

【最大計測範囲 (上下)】:

体動ログで表示される重心位置 (上下)のグラフの最大メモリを変更できます。

【最大計測範囲 (左右)】:

体動ログで表示される重心位置 (右左)のグラフの最大メモリを変更できます。

【最大計測範囲 (体動回数)】:

体動ログで表示される体動回数のグラフの最大メモリを変更できます。

【睡眠・覚醒判定 感度】:

患者様の状態に併せて睡眠覚醒判定の基準を変更できます。

※中高年の方など寝返りの回数が比較的少ない方は【感度：高】を選択してください。

※若年の方など寝返りの回数が比較的多い方は【感度：低】を選択してください。



●寝床内気候

【ヒーター温度】: ヒーター機能の温度を変更することができます。

【送風機 断続運転】: 送風機が運転する時間を変更することができます。

※送風機は断続運転で60分のうち上記で設定した時間分だけ運転します。

【ウォーム&クール ヒーター温度①】:

ウォーム&クール機能の[1]のヒーター温度を変更できます。

【ウォーム&クール ヒーター時間①】:

ウォーム&クール機能の[1]のヒーター運転時間を変更できます。

【ウォーム&クール ヒーター温度②】:

ウォーム&クール機能の[2]のヒーター温度を変更できます。

【ウォーム&クール ヒーター時間②】:

ウォーム&クール機能の[2]のヒーター運転時間を変更できます。

【ウォーム&クール 送風機運転時間】:

ウォーム&クール機能の[3]の送風機運転時間を変更できます。



●見守り

【見守り 開始時間】: 見守りを開始するまでの時間を変更することができます。

※誤検知を防ぐために、見守りを開始するまでに待機時間 (お知らせしない時間) を設けています。

見守りアシスト機能をON状態にして【見守り 開始時間】の設定時間以内、マットレスに乗って

【見守り 開始時間】の設定時間以内は見守りの状態を検知してもお知らせされません。

【長期離床 お知らせ】: 長期離床をお知らせするまでの時間を変更できます。

【無体動 お知らせ】: 無体動をお知らせするまでの時間を変更できます。

【体動過多 お知らせ】: 体動過多をお知らせする体動回数を変更できます。

液晶タッチパネル操作および機能説明

●リセットボタン

リセット

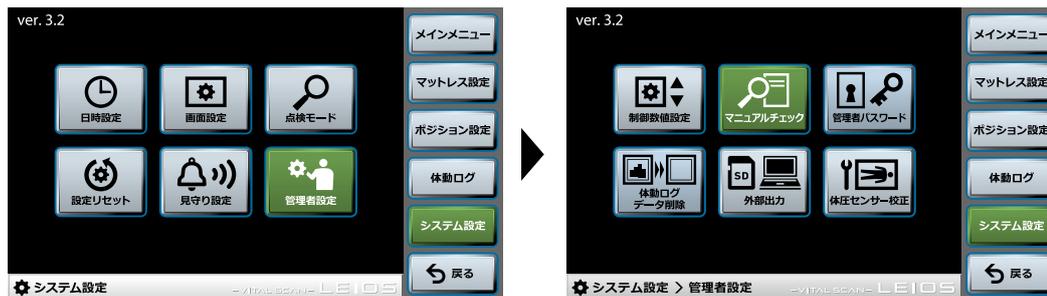
各画面で項目が選択されている場合はその項目のみ、選択されていない場合は全ての項目がリセットされ、初期設定に戻ります。

【リセット操作時設定内容(初期設定)】

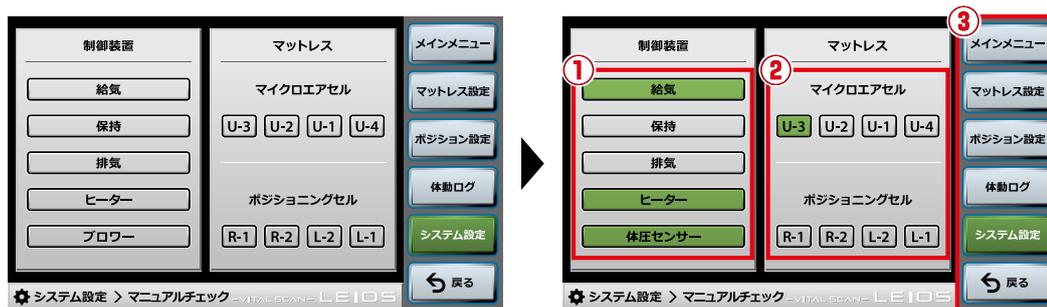
項目		初期設定値(リセット時)	設定範囲	上ボタンタッチ時	下ボタンタッチ時
体圧表示	最大圧力値	70mmHg	1mmHg~100mmHg	+1mmHg	-1mmHg
	最小圧力値	5mmHg	0mmHg~99mmHg	+1mmHg	-1mmHg
体動判定	無体動時間 体動確定回数	6回	1~99回	+1回	-1回
	離床判定	5kg	1~150kg	+1kg	-1kg
体動ログ	重心ゼロ点(上下)	0cm	-89cm~+89cm	+1cm(上側)	-1cm(上側)
	重心ゼロ点(左右)	0cm	-32cm~+32cm	+1cm(上側)	-1cm(下側)
	最大計測範囲(上下)	15cm	5cm~89cm	+1cm	-1cm
	最大計測範囲(左右)	20cm	5cm~32cm	+1cm	-1cm
	最大計測範囲(体動回数)	12回	1~99回	+1回	-1回
	睡眠・覚醒判定 感度	中	低 中 高	低→中→高	高→中→低
寝床内気候	ヒーター温度	32℃	25℃~38℃	+1℃	-1℃
	ブLOWER断続運転	40分	1~60分	+1分	-1分
	ウォーム&クール ヒーター温度①	45℃	25℃~45℃	+1℃	-1℃
	ウォーム&クール ヒーター時間①	20分	1~60分	+1分	-1分
	ウォーム&クール ヒーター温度②	40℃	25℃~45℃	+1℃	-1℃
	ウォーム&クール ヒーター時間②	20分	1~60分	+1分	-1分
	ウォーム&クール 送風機運転時間	20分	1~60分	+1分	-1分
	ヒーターランク	設定不可			
見守り	見守り 開始時間	30秒	1秒~999分	+1分	-1分
	無体動 お知らせ	120分	1~999分	+1分	-1分
	長期離床 お知らせ	60分	1~999分	+1分	-1分
	体動過多 お知らせ	12回	1~99回	+1回	-1回

液晶タッチパネル操作および機能説明

(2) マニュアルチェック



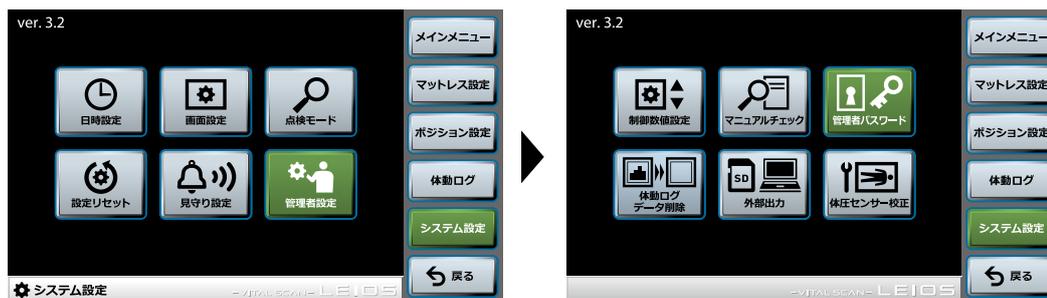
マットレスの各機能の動作確認をおこなうことができます。



ボタンを選択するとチェックが始まりますので、正常に動作しているかを確認してください。

- ①【給気】【保持】【排気】の項目を選択してください。
※上記は1項目しか選択できません。
- ②マイクロエアセル+ポジショニングセルの8系統の内、1系統を選択してください。
※上記は1系統しか選択できません。
- ③【戻る】ボタンをタッチすることで動作が解除され、前画面に戻ります。また、他のメニューボタンをタッチしても同様に解除され、各画面に移動します。

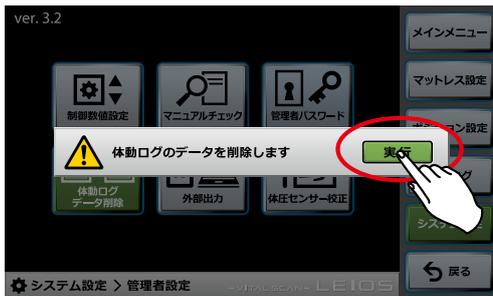
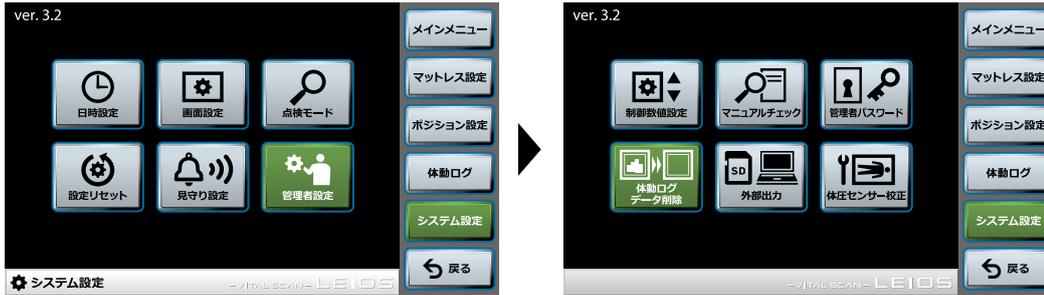
(3) 管理者パスワード



このボタンは生産時の設定で使用するボタンですので、使用できません。

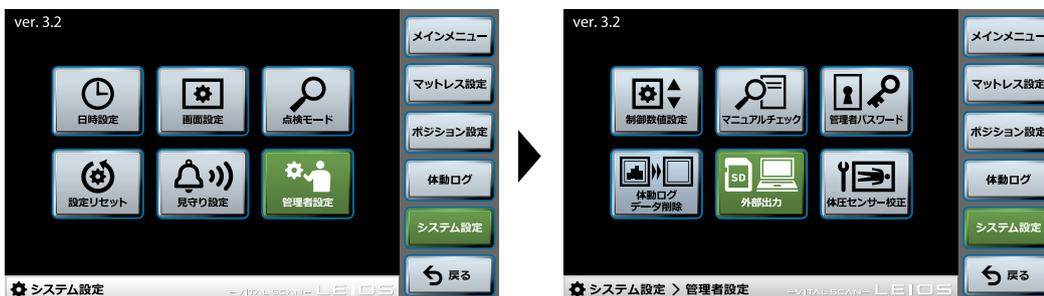
液晶タッチパネル操作および機能説明

(4)体動ログデータ削除

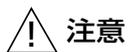


【体動ログデータ削除】ボタンをタッチするとアラート(注意)が表示されますので、【実行】ボタンをタッチしてください。
体動ログのデータが削除されます。
※一度削除したデータは復元できません。

(5)外部出力



体圧・体動センサーで取得したデータやマットレスの設定の情報を外部記録媒体(パソコンまたはSDカード)に保存することができます。
誤った接続によって他の機器へ影響を及ぼす可能性があるため、LANケーブルによる外部出力機能を使用する場合は、必ず
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口へご連絡ください。



注意

パソコンおよびSDカードは、セキュリティ対策を施した安全なものを使用してください。

※セキュリティに問題のあるパソコンやSDカードを接続すると、コンピュータウイルスなどによるデータの破損や情報漏洩などが発生するおそれがあります。セキュリティ対策を施していないパソコンやSDカードを接続され、当該製品やそのほかの備品・ネットワークにセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。

液晶タッチパネル操作および機能説明

(6)体圧・体動センサー校正



体圧・体動センサーの校正をおこないます。

体圧・体動センサーに無負荷の状態でもモニターに体圧・体動データが表示される場合に調整する機能です。
【ゼロ点調整】ボタンをタッチすると条件が出ますので、それに従い準備と確認後【実行】ボタンをタッチすると開始します。
※体圧・体動センサーが折れた状態、物が乗ったり当たっている状態などがなくよく確認しておこなってください。
※【ゼロ点調整／実行】後、マットレスを手で押さえて体圧・体動センサーが反応するか確認してください。
※【リセット】ボタンは工場出荷時の状態に調整します。
※前回の実施日が記録されます。



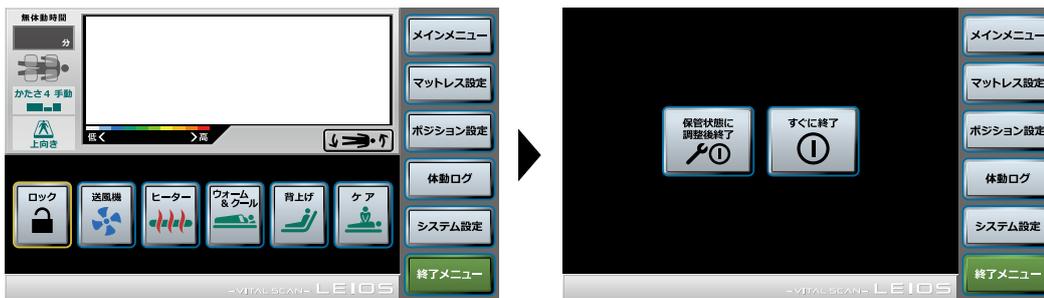
このボタンは生産時の設定で使用するボタンですので使用できません。

液晶タッチパネル操作および機能説明

終了メニュー



終了メニュー



メイン画面の【終了メニュー】ボタンをタッチまたは電源ボタンの長押しで、終了画面に移動します。



保管時にはこのメニューで終了してください。マットが【上向き】【静止型】の保管状態に調整されます。マットレスがフラットになれば動作が完了して終了します。(約8分)



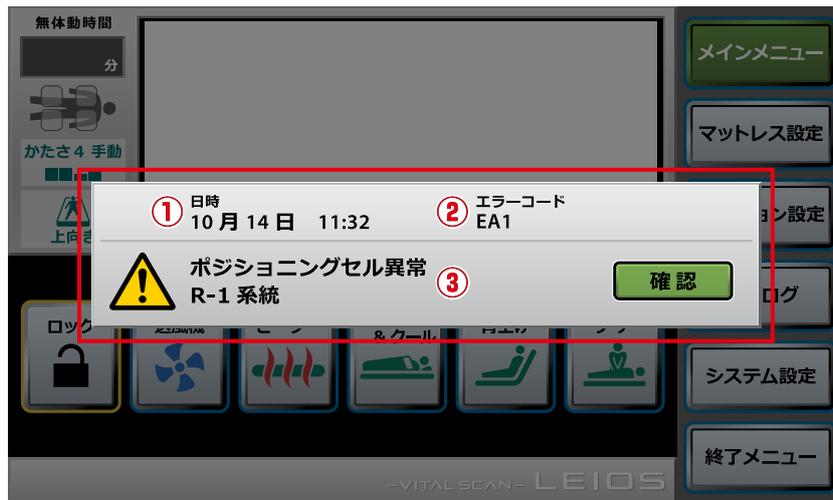
移動など一時的に電源を【OFF】(切)にしたい場合は、このメニューで終了してください。動作状態のまま停止し、終了します。

●強制終了について

エラーなどで画面が表示されなくなり、終了画面が出せない場合は、電源プラグを抜いてください。

エラーの対処およびセーフモード

エラー表示



マットレスに異常を感知した場合は、上記のようなアラート(注意)が表示されます。

①エラー発生日時：エラーが発生した日時が表示されます。

複数のエラーが同時に発生している場合は、危険度の高いエラーが発生した日時を表示します。

②エラーコード：エラーの種類がコードで表示されます。

複数のエラーが同時に発生している場合は、全てのエラーコードを表示します。

※危険度の高い順に左から並びます。

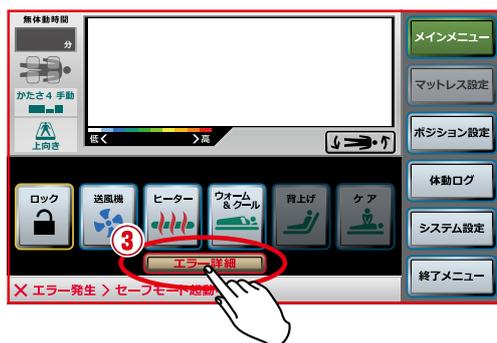
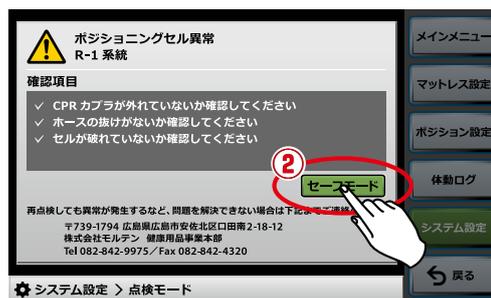
③エラー内容：エラーの内容が表示されます。

複数のエラーが同時に発生している場合は、危険度の高いエラー内容を表示します。

【確認】ボタンをタッチして、画面表示の指示に従って対処またはセーフモードを起動してください。

※エラー発生時はエラー内容に合わせてセーフモードで動作をおこないます。

セーフモード



①アラート(注意)の【確認】ボタンをタッチすると、点検モードのエラー詳細画面へ移動します。対処しても問題が解決しない場合は、セーフモードで正常な機能のみ使えるようになります。

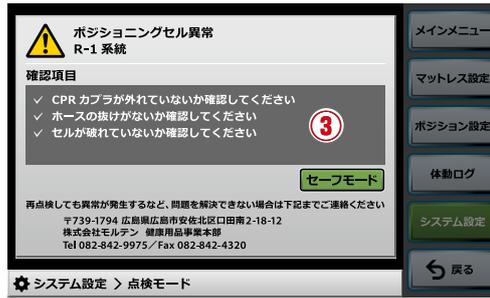
②画面内の【セーフモード】ボタンをタッチするとセーフモード画面に移動します。エラーなどで使えない機能は消灯されています。

③エラー内容は【エラー詳細】ボタンで確認できます。

その後は①～③の繰り返しとなります。

エラーの対処およびセーフモード

エラーモード一覧表



左記のようなエラー画面が表示された場合は、下記の一覧表に従い対処してください。

① エラーコード	エラーモード	セーフモード時停止機能	②エラーメッセージ	③エラー確認項目
EA1	マイクロエアセル 低圧エラー	・ マットレス設定／超低圧自動調整 ・ 体圧・体動センサー校正 ・ 見守り設定	マイクロエアセル 低圧エラー ○○、××、△△系統	・ CPRカブラが開いていないか確認してください。 ・ エアホースが抜けていないか確認してください。 ・ エアセルに破れがないか確認してください。 ・ フィルターが目詰まりしていないか確認してください。
EA2	圧力センサーエラー	・ 背上げ ・ ケア ・ マットレス設定 ・ ポジション設定 ・ 体圧・体動センサー校正 ・ 見守り設定	圧力センサー異常	・ エアポンプに破損がないか確認してください。
EA3	ホース折れエラー	・ 体圧・体動センサー校正 ・ 見守り設定	ホース折れエラー ○○、××、△△系統	・ エアホースが折れていないか確認してください。 ・ マットレスが折り曲げられた状態になっていないか確認してください。
EA4	ポジショニングセル 低圧エラー	・ ポジション設定 ・ 見守り設定	ポジショニングセル 低圧エラー ○○、××、△△系統	・ CPRカブラが開いていないか確認してください。 ・ エアホースが抜けていないか確認してください。 ・ エアセルに破れがないか確認してください。 ・ フィルターが目詰まりしていないか確認してください。
EB3	マイクロエアセル用 分配弁エラー	・ 背上げ ・ ケア ・ マットレス設定 ・ ポジション設定 ・ 体圧・体動センサー校正 ・ 見守り設定	マイクロエアセル 分配弁エラー	・ エアポンプに破損がないか確認してください。
EB4	ポジショニングセル用 分配弁エラー	・ 背上げ ・ ケア ・ マットレス設定 ・ ポジション設定 ・ 体圧・体動センサー校正 ・ 見守り設定	ポジショニングセル 分配弁エラー	・ エアポンプに破損がないか確認してください
EB5	マニュアルモード/ セルフチェック中 マイクロエアセル用 分配弁エラー	・ 背上げ ・ ケア ・ マットレス設定 ・ ポジション設定 ・ 体圧・体動センサー校正 ・ 見守り設定	マイクロエアセル 分配弁エラー	・ エアポンプに破損がないか確認してください。
EB6	マニュアルモード/ セルフチェック中 ポジショニングセル用 分配弁エラー	・ 背上げ ・ ケア ・ マットレス設定 ・ ポジション設定 ・ 体圧・体動センサー校正 ・ 見守り設定	ポジショニングセル 分配弁エラー	・ エアポンプに破損がないか確認してください
EC1	ヒーターエラー1	・ ヒーター ・ ウォーム&クール ・ 見守り設定 ・ システム設定／管理者設定／制御数値設定／ ・ 寝床内機能	ヒーターエラー	・ ヒーターが破損していないか確認してください。 ・ エアポンプに破損がないか確認してください。

エラーの対処およびセーフモード

① エラー コード	エラーモード	セーフモード時停止機能	②エラーメッセージ	③エラー確認項目
	ヒーターエラー2	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーター ・ウォーム&クール ・見守り設定 ・システム設定／管理者設定／制御数値設定／寝床内機能 	ヒーターエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーターが破損していないか確認してください。 ・エアポンプに破損がないか確認してください。
EC3	ヒーターエラー3	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーター ・ウォーム&クール ・見守り設定 ・システム設定／管理者設定／制御数値設定／寝床内機能 	ヒーターエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒーターが破損していないか確認してください。 ・エアポンプに破損がないか確認してください。
※1 ED1	通信エラー1	<ul style="list-style-type: none"> ・リモコン操作 	リモコン 通信エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・リモコンケーブルが破損していないか確認してください。 ・エアポンプに破損がないか確認してください。
ED2	通信エラー2	<ul style="list-style-type: none"> ・マットレス設定／超低圧自動調整 ・体圧・体動センサー校正 ・見守り設定 ・システム設定／管理者設定／制御数値設定／体圧表示 ・システム設定／管理者設定／制御数値設定／体動判定 ・システム設定／管理者設定／制御数値設定／体動ログ ・システム設定／管理者設定／制御数値設定／見守り 	体圧・体動センサー 通信エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・体圧・体動センサーのUSBコネクタが抜けていないか確認してください。 ・体圧・体動センサー用ケーブルが破損していないか確認してください。 ・体圧・体動センサーに破損がないか確認してください。 ・エアポンプに破損がないか確認してください。
EE1	体圧・体動センサー エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・マットレス設定／超低圧自動調整 ・体圧・体動センサー校正 ・見守り設定 ・システム設定／管理者設定／制御数値設定／体圧表示 ・システム設定／管理者設定／制御数値設定／体動判定 ・システム設定／管理者設定／制御数値設定／体動ログ ・システム設定／管理者設定／制御数値設定／見守り 	体圧・体動センサー エラー	<ul style="list-style-type: none"> ・体圧・体動センサーのUSBコネクタが抜けていないか確認してください。 ・体圧・体動センサー用ケーブルが破損していないか確認してください。 ・体圧・体動センサーに破損がないか確認してください。 ・エアポンプに破損がないか確認してください。
※1 EF1	タッチパネルエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・リモコン操作 	タッチパネルエラー	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶タッチパネルやリモコンに破損がないか確認してください。

※1：【かたさ4 安定重視、上向き固定】の状態になります。

各セーフモードでは、停止機能以外は動作をおこないます。

上記の項目を確認して直らなかつた場合、またはその他の現象の場合は、項目・現象を確認の上、
 (株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

履歴表示



【システム設定】ボタンを3秒以上長押しすると、過去6回分のエラーや【見守り設定】のアラートの内容が表示されます。

ナースコールへの接続

ナースコールシステムに接続し、レイオス【見守りアシスト機能】【エラー】をお知らせすることができます。

接続時に必要な物

- ①接続先：壁側コンセントまたは分配器で接続部の空きがあるかを確認してください。
空がない場合は、お使いのナースコールメーカー様の分配器を準備してください。
※分配器側の接続プラグの種類を確認してください。
- ②接続コード：分配器側または壁側コンセントの接続プラグを確認し、(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口へご相談ください。
※レイオス側は3Pプラグまたは2Pプラグに対応します。



アラームの確認

- ①見守り設定の【項目設定】ボタンをタッチします。
- ②【体動】ボタンを選択します。
- ③見守り設定の【体動】が【ON】になっていることを確認します。
- ④マットレスの上に30秒以上静止状態で寝ます。
- ⑤身体を左右に数回動かします。
- ⑥画面にお知らせの表示とアラームが鳴れば正常です。



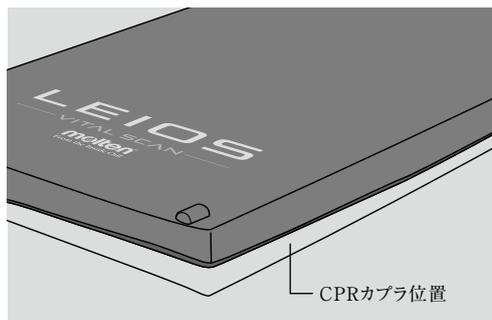
注意

- ①マットレスに乗った直後は確認したい本来の体動ではないため、30秒以上静止状態が保たれない場合は、お知らせされないように設計しています。
※静止時間(30秒)は変更することができます。(P25参照)
- ②【ケア】が【ON】中、見守りアシスト機能は一時停止になります。
※ケア中、患者様以外の方がマットレスの上に乗ることがあるため、一時停止になります。

見守りアシスト機能の選択

必要な【見守りアシスト機能】を選択してください。(P22、P23参照)

緊急時にポジショニングセルの空気を抜く方法

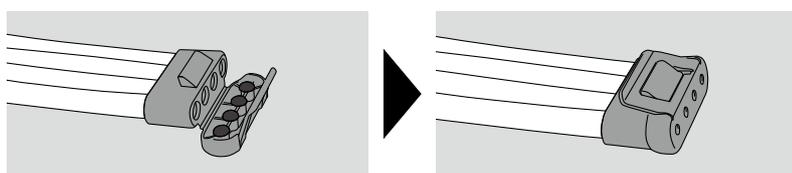


体位変換中に心臓マッサージなど緊急にマットレスをフラットにする必要がある場合、または体位変換中に停電になった場合は、以下の方法でポジショニングセルの空気をすばやく抜くことができます。

足元側から見て右側のシーツをめくり、CPR表示ラベルそばにある赤いCPRカバーを、取っ手を持って開けてください。約20秒で空気が抜けます。

① 再度使用する場合は、「カチッ」と音がするまで閉めてください。

※開いたままの状態では、体位変換ができません。

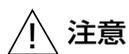
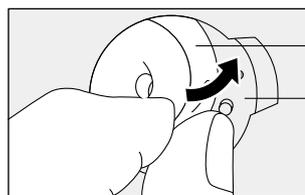
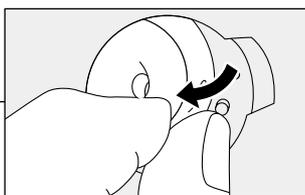
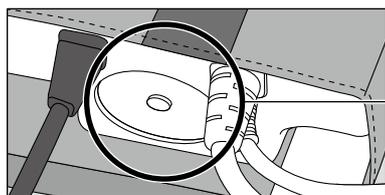


フィルター交換方法

フィルターの交換時期：1年

汚れがひどい場合は、新品と交換してください。

汚れが少ない場合は、掃除機やエアガンなどで汚れを取り除き再使用することができます。



注意

専用のフィルターを使用してください。1年に1回は、必ず汚れなどのチェックが必要です。
※専用フィルターに関しては販売先にご相談ください。

電源コンセントが抜けていた場合、または停電時の対応

長時間電源コンセントが抜けていた場合や、停電でマイクロエアセルの空気が全て抜けてしまったとしても、ウレタンフォームのフィッティング層+底着き防止層があるため、従来のウレタンフォーム系静止型マットレス同等の体圧分散性が確保されており、安心してご使用いただけます。但し、空気が抜けた状態では目標とする体圧分散性能は発揮されません。

また、復旧後には復旧前に設定していた条件に戻るため、再設定の必要がありません。

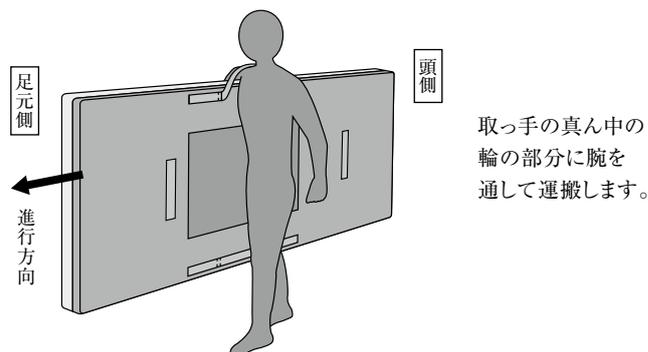
運搬・保管方法

運搬する場合は、下図のように取っ手を持ってください。

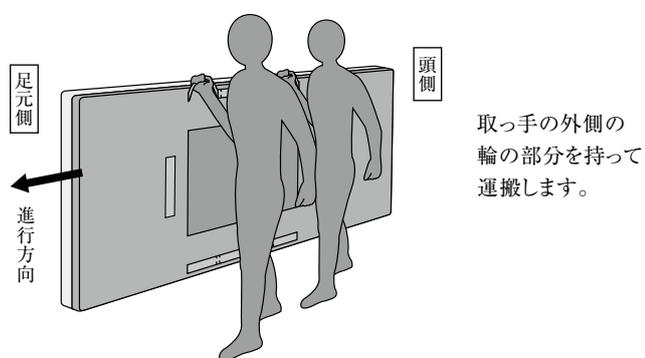
一人で運搬する場合



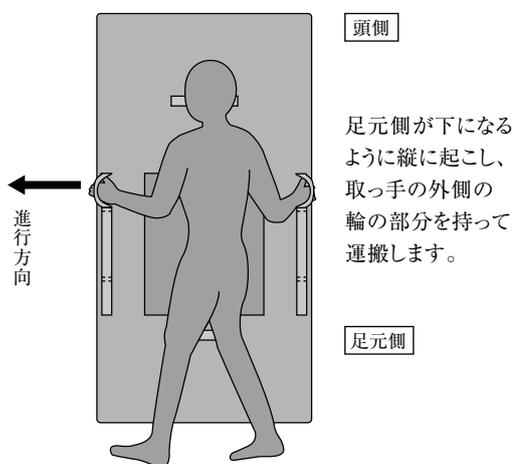
肩に掛けて運搬する場合



二人で運搬する場合



縦にして運搬する場合



- ⊗ 体圧・体動センサーおよび内部のエアセルやエアホースの破損につながるおそれがあるので、マットカバーの表側を持って運搬しないでください。
- ⊗ エアホースが抜けるおそれがあるので、マットカバー裏側にあるエアホースを持って運搬しないでください。
- ⊗ 変形や破損のおそれがあるので、折りたたんだり丸めた状態で運搬や保管をしないでください。
- ⊗ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたままや、マットレスを積み重ねて保管しないでください。
- ⓪ 材質や色に変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ⓪ 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納袋に入れてマットレス内におさめてください。

注意

湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
※サビ・カビの発生や故障の原因になります。

使用環境および保管環境については、下記に従ってください。

環 使 用 保 管 境 管	使用・保管温度	10℃～40℃
	使用・保管湿度	30%～75%RH (結露無し)
	使用・保管気力	700hPa～1060hPa

お手入れ方法

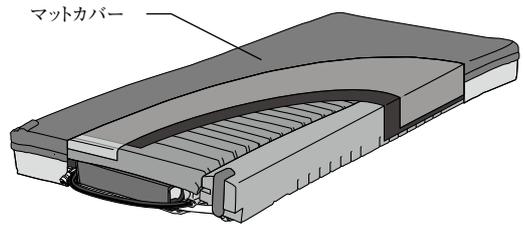
汚れの落としかた

汚れが少ない場合は、マットカバー表面を市販の中性洗剤やアルコールを布に含ませて清拭してください。

汚れがひどい場合は、マットカバー上部または全体を取り外し、洗濯機などで丸洗い洗浄してください。

洗浄後は乾燥機による乾燥または陰干してください。

※マットカバーとエアポンプを取り外してください。



① マイクロエアセル、ポジショニングセル、エアポンプ、リモコン、体圧・体動センサーなどの内部構成部品は洗浄しないでください。

※ウレタンフォームを洗浄する場合は、事前にお求めの販売先または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

① シンナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。

① 酸性洗剤は素材を傷めるおそれがあるので使用しないでください。

① マットカバーが縮むおそれがあるのでドライクリーニングはしないでください。

① マットカバーを洗濯機で洗う場合は、キズが付くおそれがあるのでネットを使用してください。

① マットカバーを洗浄・乾燥する場合は、縮むおそれがあるので必ず80℃以下でおこなってください。

① 塩素系洗剤を使用する場合は、表示の注意事項および濃度を確し希釈して使用してください。濃度が高い場合は、マットカバーが変色するおそれがありますのでご注意ください。



【液晶タッチパネル】

液晶タッチパネルは市販の液晶用クリーニングクロスなどで拭いてください。

① 液晶タッチパネルをアルコールなどの水分を含むもので拭かないでください。(液晶画面の白濁や故障などのおそれがあります)

① ベンジンやシンナー類・マニキュア除去液などは使用しないでください。(素材が変質・変色するおそれがあります)

① 化学ぞうきんは、注意書きに従って使用してください。

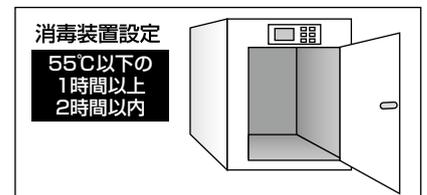
消毒のしかた

消毒薬やアルコールを噴霧または布に染み込ませて清拭してください。

消毒装置を使用する場合は、分解せずそのままの状態でおもて面を上にして平置きの状態または横向きに立てた状態で曲げずに装置に入れてください。

温度設定は《55℃以下の1時間以上2時間以内》に設定してください。

装置に入れるときは電源プラグを抜き、電源コードとリモコンは電源コード・リモコン収納袋に入れマットカバー内におさめてください。



① マットレスを消毒装置に入れる場合は、変形や破損のおそれがあるので、55℃以上の温度にしないでください。

① マットレスを消毒装置に入れる場合は、サビやカビの発生や故障の原因になるので、蒸気などの水分が残る消毒はおこなわないでください。

① マットレスをオゾン消毒する場合は、ウレタン層が劣化するおそれがあるので、高濃度(5ppm以上)で長時間の消毒はおこなわないでください。

お手入れ後の保管

① 変形や破損のおそれがあるので、折りたたんだり丸めた状態で保管しないでください。

① 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたままや、マットレスを積み重ねて保管しないでください。

① 材質や色に変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。

① 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納袋に入れてマットレス内におさめてください。

注意

湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。

※サビ・カビの発生や故障の原因になります。

使用環境および保管環境については、下記に従ってください。

環 使 用 保 管 境 界	使用・保管温度	10℃～40℃
	使用・保管湿度	30%～75%RH(結露無し)
	使用・保管気圧	700hPa～1060hPa

EMC (電磁両立性) について

本製品は、下記の電磁環境での使用を意図し適合しています。必ず下表に示す適切な環境下で使用してください。

JIS T0601-1-2 : 2019 医用電気機器

試験項目	対応規格	試験レベル	試験結果
静電気放電(ESD)	JIS C61000-4-2	±6kV 接触	適合
		±8kV 気中	
電氣的ファストランジェント/ バースト	JIS C61000-4-4	±2kV 電源ライン	適合
		±1kV 入出力ライン	
サージ	JIS C61000-4-5	±0.5kV、±1kV交流電源ライン間	適合
		位相0°、90°、180°、270°	
電力供給入力ラインにおける 電圧ディップ、短時間停電及び 電圧変化	JIS C61000-4-11	<5%UT 0.5サイクル間	適合
		40%UT 5サイクル間	
		70%UT 25サイクル間	
		<5%UT 5秒間	
電源周波数磁界	JIS C61000-4-8	3A/m	適合
RF電磁界によって誘発する伝導妨害	JIS C61000-4-6	3Vrms	適合
		150kHz~80MHz	
放射RF電磁界	JIS C61000-4-3	3V/m	適合
		80MHz~2.5GHz	
高調波ひずみ	JIS C61000-3-2	Equipment class A Observation time=150s	適合
電圧変動及びフリッカ	JIS C61000-3-3	Pst=10min Observation time=10min	適合
RFエミッション	CISPR11	Group1 Class B	適合



警告

EMC (電磁両立性) の試験 (JIS T0601-1-2 : 2019 医用電気機器) は適合していますが、他の機器類に影響がないことを確認の上、使用してください。

このようなときには

エラー画面が表示された場合

上記のエラー画面が表示された場合は、P32・P33の「エラーモード一覧表」に従って対処してしてください。

このようなときには

現象	確認方法	処 置
マットレスがふくらまない 柔らかすぎる 体が沈み込んでしまう	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。(P7参照)
	リモコンの電源ランプの色はオレンジですか？	電源ボタンを押して起動させてください。(P7、P9参照)
	エアホースが外れていませんか？	エアポンプおよびエアマットレスをつなぐエアホースを確認し、抜けている場合は、差し直してください。
	エアホースが折れていませんか？	エアホースを交換してください。
	体圧・体動センサーが折れた状態になっていませんか？	体圧・体動センサーをフラットな状態にしてください。
	患者様以外の人や物が乗っていませんか？	患者様以外の人や物を乗せないでください。
	かたさ設定がやわらかくなっていませんか？	リモコンでかたさ設定をかたくしてください。(P13参照)
	【超低圧自動調整モード】になっていませんか？	【超低圧自動調整モード】を解除してください。(P13参照)
	体圧・体動センサーに無負荷の状態でもモニターに体圧データが表示されていませんか？	【ゼロ点調整】をおこなってください。(P29参照)
マットレスがかたすぎる	【背上げ】モードを設定していませんか？	【背上げ】モードを解除してください。(P12参照)
	【ケア】モードを設定していませんか？	【ケア】モードを解除してください。(P12参照)
	かたさ設定がかたくなっていませんか？	リモコンでかたさ設定をやわらかくしてください。(P13参照)
エアポンプの音がうるさい	足元側の下にかたい物を置いていませんか？	マットレスの下からかたい物を取り除いてください。
寝床内が寒い	【送風機】が【入】になっていませんか？	【送風機】を【切】にしてください。(P12参照)
	【ヒーター】が【切】になっていませんか？	【ヒーター】を【入】にしてください。(P12参照)
	【ヒーター】または【ウォーム&クール】の設定温度を低くしていませんか？	【管理者設定／数値制御設定／寝床内気候】の【ヒーター】または【ウォーム&クール】の設定温度を上げてください。(P25参照)
	リモコン画面にエラー表示が出ていませんか？	P32・P33の「エラーモード一覧表」を参照してください。
寝床内が暑い	フレッシュエアダクトのエアホースがカバーの中で外れていませんか？	カバーを開き、中にあるエアホースを接続してください。
	フレッシュエアダクトの上に防水シートなど通気性がない物をかぶせていませんか？	フレッシュエアダクトを避けてかぶせるか、通気性のある物を使用してください。(P7参照)
	【送風機】が【切】になっていませんか？	【送風機】を【入】にしてください。(P12参照)
	【ヒーター】が【入】になっていませんか？	【ヒーター】を【切】にしてください。(P12参照)
	【ヒーター】または【ウォーム&クール】の設定温度を高くしていませんか？	【管理者設定／数値制御設定／寝床内気候】の【ヒーター】または【ウォーム&クール】の設定温度を下げてください。(P25参照)
ポジショニングセルが ふくらまない	CPRカバーが開いていませんか？	CPRカバーを閉じてください。(P35参照)
	エアホースが折れたり抜けたりしていませんか？	エアホースを接続するか、エアホースを交換してください。
	【ケア】【背上げ】のいずれかを選択していませんか？	【ケア】【背上げ】を解除してください。(P12参照)
	メインメニューのポジショニングのモニターが【上向き】の表示になっていませんか？	ポジショニング設定のメニューで設定してください。(P15参照)
	【ひざ固定】【上体固定】の下げを選択していませんか？	各設定を【上げ】または【なし】にしてください。(P15参照)
	【カスタム】のポジショニング角度を【0度】に設定していませんか？	【カスタム】のポジショニング角度を【0度】以外で設定してください。(P16参照)
リモコン操作ができない	電源プラグが外れていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。(P7参照)
	操作ロックを設定していませんか？	操作ロックを解除してください。(P11参照)
マットレスに何も乗っていない状態でも体圧モニターに表示される	マットレスに何か乗っていませんか？	マットレスに何も乗っていない、体圧・体動センサーが折れ曲がっていないのを確認し【体圧・体動センサー校正】で【ゼロ点調整／実行】を行ってください。(P29参照)
	体圧・体動センサーが折れ曲がっていませんか？	
体圧データが モニターに表示されない	リモコン下面の体動センサーのUSBコネクタ部が外れていませんか？	USBコネクタをしっかりと差し込んでください。

このようなときには

現象	確認方法	処 置
体圧モニターで異常に高い値が表示される	マットレスに何も乗っていませんか？	体圧・体動センサーをフラットな状態にしてください。
	体圧・体動センサーが折れた状態になっていませんか？	
	【管理者設定／体圧表示】で【最大体圧値】を変更していませんか？	【管理者設定／体圧表示】で【リセット】を行ってください。(P24参照)
体圧モニターに縦または横一直線にデータが表示されない場所がある	体圧・体動センサーのデータが表示されない場所を手で押してみてください。	手で押してみてもデータが表示されない場合は、お求めの販売先または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
体圧モニターに縦または横一直線に赤色で表示される場所がある	体圧・体動センサーが折れ曲がっていませんか？	体圧・体動センサーの折れ曲がりを直してください。折れ曲がりがなく赤色データが直線状に表示される場合は、お求めの販売先または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
人が乗っていても体圧モニターがほとんど表示されない	【体圧・体動センサー校正】で【ゼロ点調整／実行】を行いましたか？	マットレスに何も乗っていない、体圧・体動センサーが折れ曲がっていないのを確認し【体圧・体動センサー校正】で【ゼロ点調整／リセット】を行ってください。(P29参照)
	【管理者設定／体圧表示】で【最小体圧値】を変更していませんか？	【管理者設定／体圧表示】で【リセット】を行ってください。(P24参照)
体動ログデータが記録されていない	31日以上前のデータですか？	31日以上前のデータは自動的に消去されます。
	設定している日時は正しいですか？	システム設定の【日時設定】で日時を確認してください。(P19参照)
	【体動ログデータ削除】を行いましたか？	【体動ログデータ削除】を行うとデータは削除され復元できません。(P25参照)
体動ログのデータが実際の患者様の動きと合わない	日時は合っていますか？	日時を確認してください。また体動ログデータは実際の動きと必ず一致するものではないので注意してください。
液晶タッチパネルがメインメニューに戻ってしまう	液晶タッチパネルに触れずに5分以上経っていませんか？	液晶タッチパネルに5分以上触れないとメインメニューに自動的に戻ります。
液晶タッチパネルに触れてもモニターが暗いまま	電源プラグが外れていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。(P7参照)
		電源プラグが外れていない場合は、電源ボタンで再起動させてください。再起動できない場合は、お求めの販売先または㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
液晶タッチパネルが消灯してしまう	液晶タッチパネルに触れずに10分(初期設定)以上経っていませんか？	液晶タッチパネルに触れると点灯します。また消灯時間は設定可能です。(P19参照)
上下ボタンで設定できない	変更箇所を選択していますか？	変更箇所を選択して設定してください。
【送風機】【ヒーター】が選択できない	【ウォーム&クール】を選択していませんか？	【ウォーム&クール】を解除してください。(P12参照)
【ウォーム&クール】が選択できない	直前に【ウォーム&クール】を使用していませんか？	安全のため、【ウォーム&クール】機能は直前に使用したヒーター動作と同じ時間使用できません。
【かたさ調整】が選択できない	【超低圧自動調整モード】を選択していませんか？	【超低圧自動調整モード】を解除してください。(P13参照)
体圧・体動センサーの校正ができない	体圧・体動センサーが折れていませんか？	体圧・体動センサーを伸ばしてください。
	物が乗ったり当たったりしていませんか？	乗ったり当たったりしている物を取り除いてください。
電源が切れない	終了メニューで【保管状態】を選択していませんか？	【保管状態】を選択すると【上向き】【静止型】の状態にして電源が切れます。(P30参照)
見守りアシスト機能が反応しない	リモコン中央部に「見守り中」のアイコン表示が出ていますか？	見守りアシスト機能を設定してください。(P22参照)
	【ケア】のボタンが選択されていませんか？	【ケア】を選択したときは【見守りアシスト機能】が一時停止の状態になりますので解除してください。(P12参照)
	【セーフモード】になっていませんか？	問題を解決し、【セーフモード】を解除してください。(P31参照)
ナースコールが鳴らない	ナースコール接続用プラグに3Pプラグまたは2Pプラグの接続コードがしっかりと接続されていますか？	3芯電源プラグへプラグをしっかり接続してください。(P34参照)
	ナースコール側の設定は正しいですか？	ナースコールシステムのメーカー様へお問い合わせください。

このようなときには

現象	確認方法	処置
心電計にノイズがでる	電源プラグ先端の3芯電源アダプターが外れていませんか？	3芯電源アダプターを取り付けてください。
	保護シートのアース線ボタンが外れていませんか？	保護シートのアース線ボタンを取り付けてください。(P44参照)
	3芯電源アダプターは取り付けているがノイズがでる。	心電計のノイズフィルターを使用するかお使いの心電計メーカー様へご相談ください。
エラー表示が出たが消してしまった	—————	システム設定長押しで過去6回のエラー履歴が分かります。
セキュリティ対策されていないSDカードやパソコンを接続し、外部から不正アクセスを受けるなどのサイバー攻撃を受けてしまった。	—————	使用を中止し、モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご連絡ください。

※冬季などに室温が低い場合は、エアポンプの空気流量・圧力が低くなりアラート(注意)が表示されることがありますが、これは内蔵ポンプのゴム部品がひえたために発生する現象で故障ではありません。電源ボタンを再度入れ直し10分以上動作させてください。

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売先または
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)578-9226

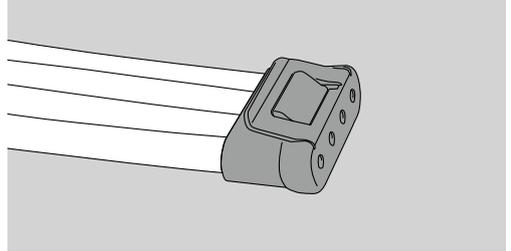
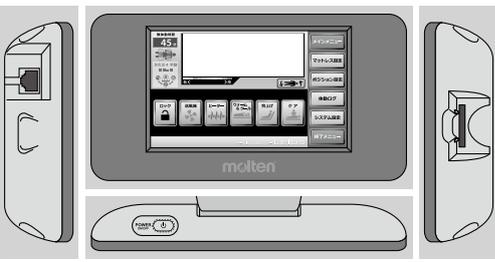
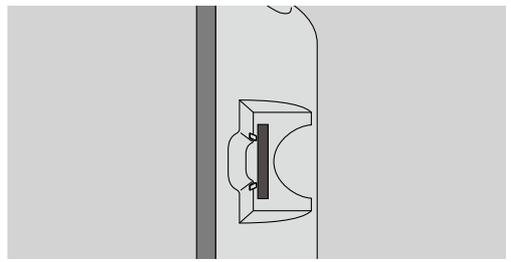
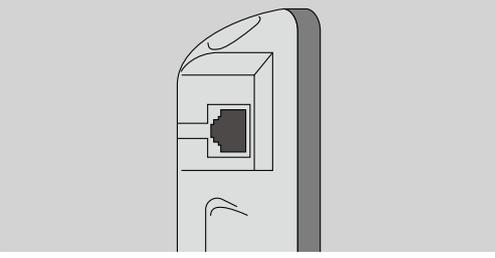
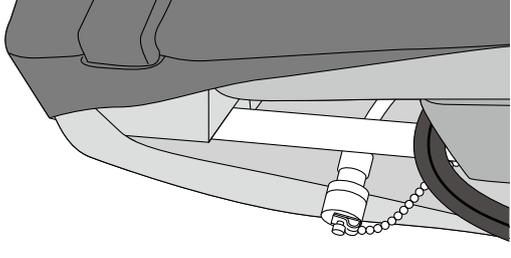
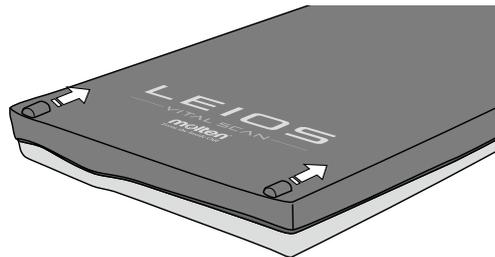
〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

点検チェックシート

●使用前などにおこなう点検要領

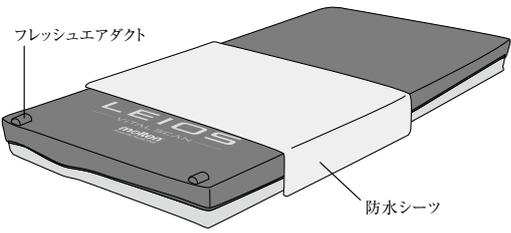
異常があり、交換や修復で直らない場合は、(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

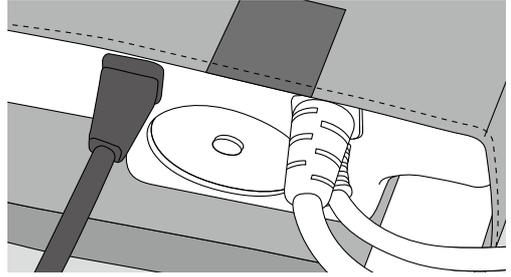
動作の点検

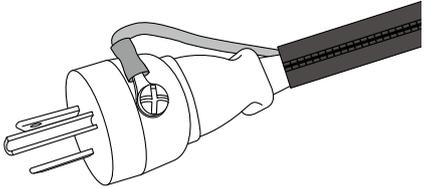
1	リモコンの表示確認	結果		異常あり
		結果		異常なし
エラー表示が出ていないことを確認します。				
2	CPRカブラ	結果		異常あり
		結果		異常なし
CPRカブラが閉じているか点検します。				
3	リモコンの動作	結果		異常あり
		結果		異常なし
リモコン各部の動作、ボタンの異常などを点検します。異常ありの場合は、修理に出してください。				
4	SDカード挿入口	結果		異常あり
		結果		異常なし
SDカード挿入口にふたが差し込まれていることを確認します。				
5	LAN接続口	結果		異常あり
		結果		異常なし
LAN接続口にふたが差し込まれていることを確認します。				
6	ナースコール接続用プラグ	結果		異常あり
		結果		異常なし
ナースコール接続用プラグにキャップがはまっていることを確認します。ナースコール接続時はプラグがしっかりと接続されていることを確認します。				
7	送風機の動作	結果		異常あり
		結果		異常なし
【送風機】にして、足元側のエアダクトから空気が出てくるか確認します。				
8	体圧・体動センサーの確認	結果		異常あり
		結果		異常なし
体圧・体動センサーに無負荷の状態でもモニター画面に表示が出ていないか確認します。また、手で押してみても体圧・体動センサーに反応があるか確認します。				

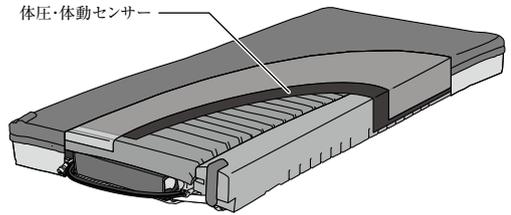
点検チェックシート

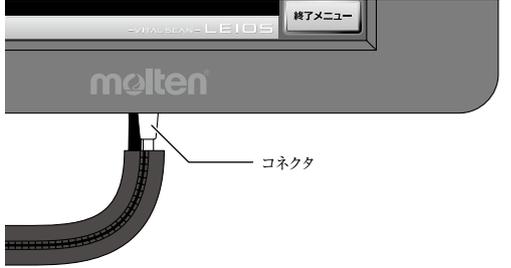
本体各部の点検

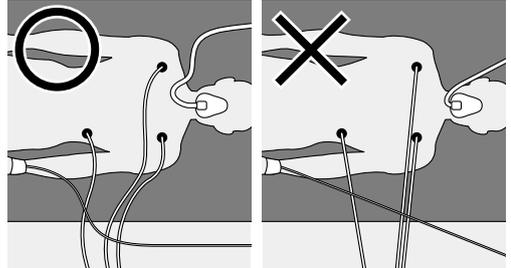
フレッシュエアダクト部分の点検		結果
1		異常あり
		異常なし
フレッシュエアダクトが防水シートやパッドなどで隠れていないか点検します。隠れていると空気が寝具内に入らなくなる可能性があります。なお、綿シートなど通気性のあるものはダクトにかぶせてください。		

フィルターの汚れ		結果
2		異常あり
		異常なし
フィルター取付部のフィルター汚れを点検します。汚れがあれば清掃または交換します。		

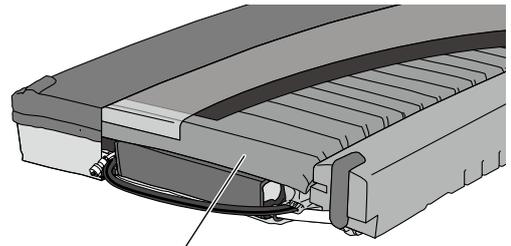
リモコン、体圧・体動センサーのコードと電源コード		結果
3		異常あり
		異常なし
コードやプラグに変形や折れなどの破損がないか点検します。異常ありの場合は、修理に出してください。		

体圧・体動センサーの点検		結果
4		異常あり
		異常なし
体圧・体動センサーが正常に作動するか点検してください。折れ曲がったりしていないか確認してください。		

コネクタ部分の接続		結果
5		異常あり
		異常なし
リモコンのコネクタ部がしっかりと接続されているか点検します。		

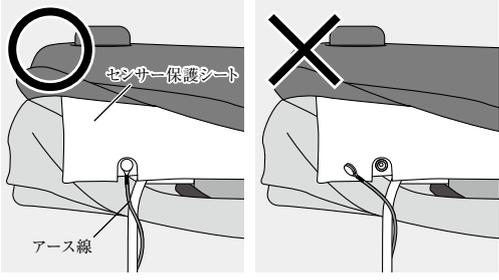
周辺コードの確認		結果
6		異常あり
		異常なし
患者様へ取り付けられているコードやチューブ、周辺機器などが引っ張られるような状況でないか確認してください。		

リモコン液晶画面の確認		結果
7		異常あり
		異常なし
液晶画面に破損や割れがないか確認してください。		

マイクロエアセルの確認		結果
8		異常あり
		異常なし
空気が抜けていないか確認してください。エアホースが抜けたり折れていないか確認してください。		

点検チェックシート

本体各部の点検

アース線の確認	結果
<p data-bbox="145 456 165 486">9</p> 	<p data-bbox="715 342 759 405">異常あり</p> <p data-bbox="715 490 759 553">異常なし</p>
<p data-bbox="193 600 762 645">アース線がセンサー保護シートの端末に取り付けられていることを確認してください。 ※アース線ボタンは足元左側にあります。</p>	

レイオス仕様

品番	MLES80	
一般的名称	体動センサ	
医療機器分類	一般医療機器	
届出番号	34B2X00012000001	
電撃保護	クラスII	
電源・消費電力	AC100V、50/60Hz、58W(ヒーター部：54W)	
使用・保管環境温湿度	10℃～40℃、30%～75%RH	
外形寸法	幅80cm×長さ193cm×厚さ17cm	
質量	15kg	
素材	マット部	ウレタンフィルム/フィッティング層・底着き防止層=高耐久ウレタンフォーム
	カバー部	ウレタン合皮(防水仕様、制菌加工)
種別	リプレイスメントタイプ(ベースマットレス不要)、圧切替型/静止型	
リモコン	サイズ	幅24cm×高さ12.5cm×厚さ×3.5cm
	ケーブル	長さ150cm
	画面	7.0型カラーTFT液晶
保証	5年保証	

●記載されている製品の仕様、外観は改良のため許可なく変更することがありますのでご了承ください。

開発・製造・販売元

ISO9001 認証取得
ISO13485 認証取得
*床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、
製造および付帯サービスにて取得
本製品の取扱説明書は下記QRコード
からダウンロードいただけます。



取扱説明書

株式会社 **モルテン**

健康用品事業本部

www.molten.co.jp/health

東京 札幌 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡
製品他、各種お問い合わせは

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21

TEL.082-578-9226

E-mail:health@molten.co.jp

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日/9:00～17:00
*祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

Ver.2

2024.03